

2020 年度
学校教育における
即興型英語ディベートの推進・指導者育成
中間報告書

助成：公益財団法人 日本財団

2022 年 4 月

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)



目次

1 研修会・地域交流大会・合宿・大会

1.1	PDA 神奈川交流大会 体験会 (横須賀高校、多摩高校、厚木高校、相模原高校、湘南高校、茅ヶ崎北陵高校)	10月2日
1.2	PDA 神奈川交流大会 体験会 (横浜平沼高校、鎌倉高校、相模原高校、希望ヶ丘高校)	10月3日
1.3	2021年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会) 第4回英語4技能指導法研究グループ研究会	10月8日
1.4	PDA 神奈川交流大会 体験会 (柏陽高校、横浜緑ヶ丘高校、大和高校、光陵高校、川和高校)	10月9日
1.5	PDA 首都圏交流大会(県立浦和高校)	10月13日
1.6	PDA 中四国公立高校 即興型英語ディベート交流大会	10月17日
1.7	PDA 首都圏交流大会(船橋高校)	10月21日
1.8	PDA 大阪府文理交流大会(天王寺高校)	10月23日
1.9	PDA 首都圏交流大会(千葉高校)	10月25日
1.10	PDA 首都圏交流大会(都立西高校)	10月26日
1.11	PDA 神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会	10月30日
1.12	PDA 首都圏交流大会(浦和第一女子高校)	11月2日
1.13	2021年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会) 第6回英語4技能指導法研究グループ研究会	11月12日
1.14	PDA 首都圏公立高校 即興型英語ディベート交流大会	11月14日
1.15	PDA 岩手県公立高校 即興型英語ディベート交流大会	11月23日
1.16	PDA 大阪府文理交流大会(岸和田高校)	12月10日
1.17	2021年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会) 第7回英語4技能指導法研究グループ研究会	12月17日
1.18	PDA 大阪府文理交流大会(岸和田高校・丸亀高校)	12月18日
1.19	第7回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会	12月25日-26日
1.20	PDA 中四国公立高校(岡山朝日高校)	1月6日
1.21	PDA 大阪府文理交流大会(四條畷高校)	1月14日
1.22	PDA 大阪府文理交流大会(高津高校)	1月15日
1.23	第7回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会 2022	1月21日-22日
1.24	PDA 中四国公立高校(広島市立基町高校)	1月29日
1.25	PDA 大阪府文理交流大会(大手前高校)	1月29日
1.26	PDA 大阪府文理高等学校即興型英語ディベート交流大会	2月6日
1.27	PDA 東京都公立中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会 2022	2月12日
1.28	PDA 熊本県公立高校 即興型英語ディベート交流大会	2月19日

1.29	PDA 桜蔭中学校 体験会	3月12日
1.30	PDA 開成中学校 体験会	3月13日
1.31	PDA 全国中高教員向け即興型英語ディベートワークショップ2022	3月20日
1.32	第5回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会	3月21日
1.33	PDA 京都府公立高校 即興型英語ディベート交流大会	3月24日



PDA 神奈川県高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年10月2日（土）9:00-11:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒36名（横須賀高校、多摩高校、厚木高校、相模原高校、湘南高校、茅ヶ崎北陵高校）、教員4名

ジャッジ：PDA スタッフ、多摩高校、湘南高校、茅ヶ崎北陵高校、九州大学、大阪市立大学

はじめに、横須賀高校校長の海浦先生よりご挨拶いただきました。「せっかくの機会ですので、お互い知り合いになって、高め合う仲間を作ってください。」と激励のお言葉をいただきました。

次にPDAスタッフよりディベートの流れの確認やPOI(Point of Information)の練習を行いました。POIを行うことで、お互いの主張を理解し、議論を深めることができます。特にオンラインでのPOIではビジュアルでPOIをしていることを伝えることも重要になるため、片手を頭に乗せ、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズは非常に重要です。スタッフの「せーの！」の合図でPOIのポーズをすることができました。



海浦校長先生によるご挨拶



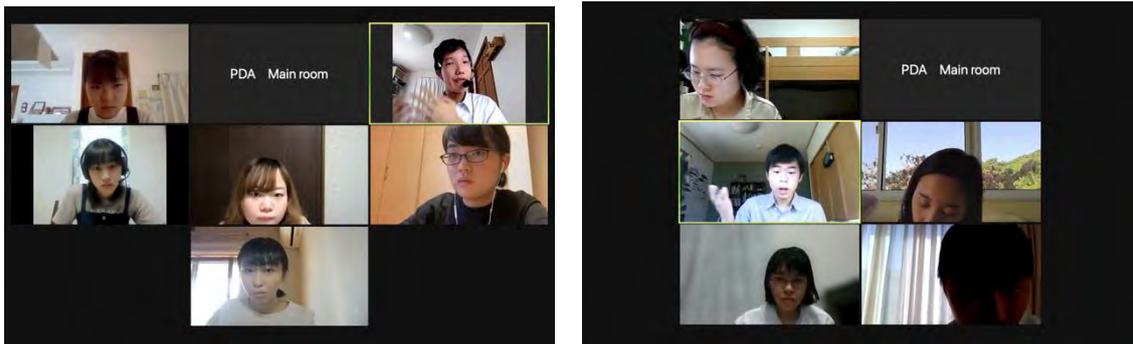
POIの練習

実践（1）の様子

即興型英語ディベートをするのは今日が初めてで、ルールについても少し不安だという生徒もいましたが、ディベートが始まると熱い議論が繰り広げられました。長期的目線でみたときの影響を説明したり、具体的な事例を提示したり、ジャッジが勝敗を悩むほどの接戦が見られました。ディベートが終わると論題についてや、学校の状況について話すなど交流を行い、「高め合う仲間づくり」に励む様子が見られました。



ディベートの様子



ジェスチャーを交えながらスピーチ

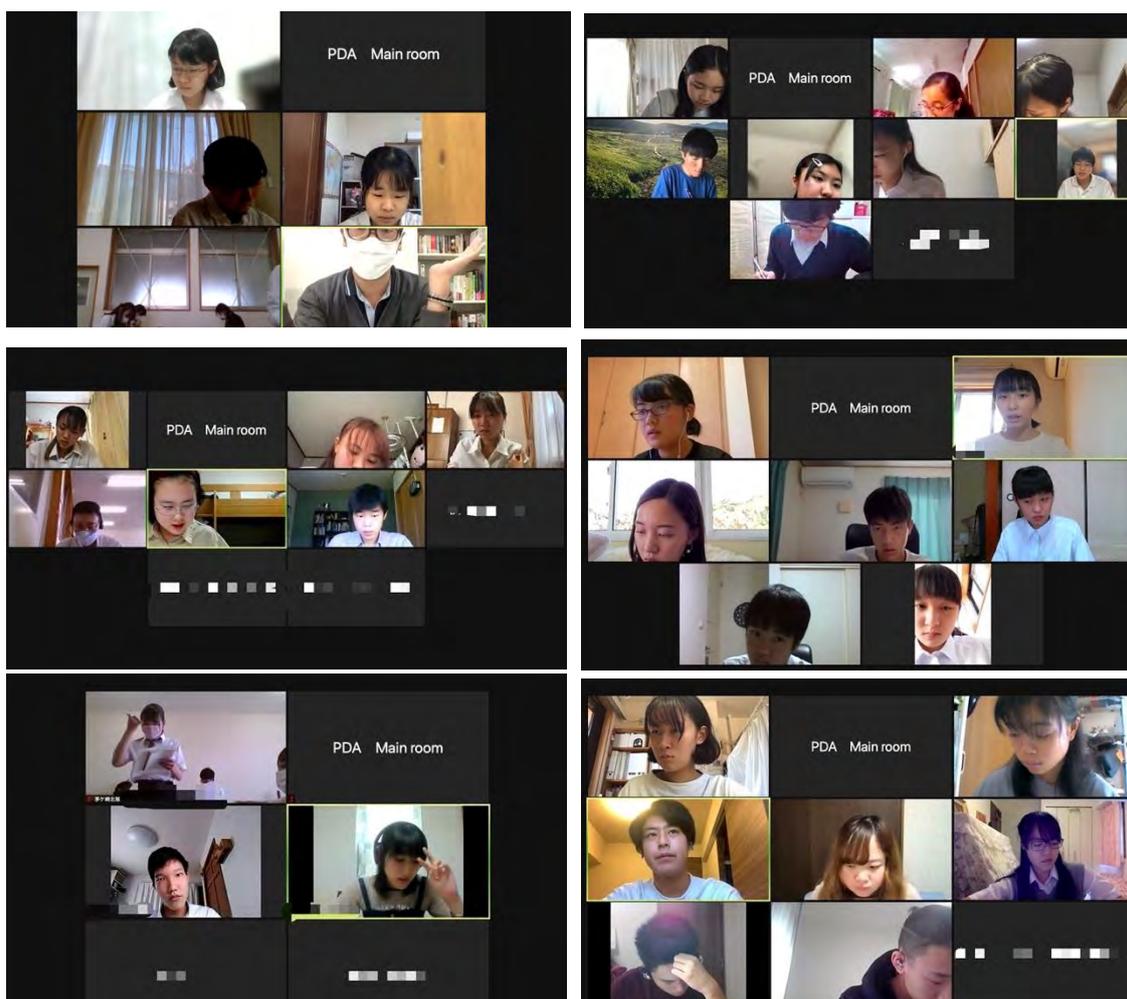


ジャッジによるフィードバック

実践（２）の様子

実践（２）では、ディベートの流れを把握し、より自信を持ってディベートを行う様子が見られました。具体例として自分の学校の例を描写したり、理由を説明するときに“*I have two reasons.*”とナンバリングをしながら複数の理由を説明したりなど、実践（１）よりもさらにステップアップしたスピーチを披露しました。

ディベート後の交流では、発音の練習は単語の勉強はどのように行なっているのかなどについて情報交換を行う様子も見られました。



ディベートの様子

最後に、2ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「他校の人とのディベートが刺激になった。」「ディベート後の会話が楽しかった。」「ジャッジの先生からいろいろなことを教えてもらえてよかった。」「他の高校の人とディベートすることで自分もまだまだだと思い、勉強するモチベーションになった。」「はじめは緊張していたが、お題について深く考えることを楽しむことができた。」「いつもとは違うジャッジの先生からフィードバックを受けることで、いつもとは違った学びを得ることができた。次に活かしたい。」と感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・またやりたいです！（湘南高校）
- ・今日、色んな人のディベートの良さを学べて良かったです。次の機会に、その学んだ良さを活かして頑張っていきたいです。（横須賀高校）
- ・他校と交流する機会を設けてくださり、視野が広がって大変良い機会となりました。（湘南高校）
- ・他の高校の立論の方法や具体例の立て方を知れて、次の自分のディベートに生かせそうだなと思った。今日学んだことや出来なかったことを復習して次に繋げたいです。（茅ヶ崎北陵高校）
- ・初めてディベートをやってみて新しい発見が沢山あった。（相模原高校）
- ・たくさんアドバイスをもらうことができ、このさきの目標が出来ました。この先もっと頑張りたいと思えました。（多摩高校）
- ・他校の人とディベートをして意見交換ができ、楽しかった。これからも練習に取り組んでいき、大会にも挑戦したい。（多摩高校）
- ・普段は関わらない他校の方と、ディベートを通じてお題について考えを深められてとても楽しかったです。対面で出来る日を楽しみにしています。（厚木高校）
- ・このような機会を作って下さりありがとうございます。今回頂いたアドバイスなど学んだことを今後のディベートに活かし、レベルアップしていけたらいいと思います！（茅ヶ崎北陵高校）
- ・普段関わることさえ無いような、そんな方たちと一緒にこんなに深くまで話し合えて、アドバイスももらえて、とても楽しかったです。ありがとうございました。（横須賀高校）
- ・初対面の方との討論は新鮮な気持ちで臨むことができ、今の実力もなんとなく分かり、得られたことがたくさんあってとても有意義な時間になったと思います。（横須賀高校）
- ・初対面の方との討論は新鮮な気持ちで臨むことができ、今の実力もなんとなく分かり、得られたことがたくさんあってとても有意義な時間になったと思います。（厚木高校）
- ・コロナの影響で他校との関わりというか殆どの人と関わりがなくなってしまったため、今回の機会はとても有意義だったと思います。また、自校でしかやってこなかったディベートを試す良い機会にもなりとても楽しめたからです。（茅ヶ崎北陵高校）
- ・2回目で、思うように主張の文が書けず、相手の主張を聞き取れず反論も出来なかったのも、悔しかった。この悔しさを無駄にしないで、自分の弱点を正していきたい。他校の、自分と同じ英語の方と交流できたことが嬉しかった。自分の学校にはないような強みの持つ方もいて、いい刺激になった。これから真似していきたい。（横須賀高校）
- ・いろんな学校の方と話せて、難しかったけどいろんな考えや言い方を知れてとても大きな学びになった。（相模原高校）

ベストディベーターに選ばれた皆さん

(実践1)

_____ さん (厚木高校)
_____ さん (茅ヶ崎北陵高校)
_____ さん (横須賀高校)
_____ さん (多摩高校)
_____ さん (湘南高校)
_____ さん (湘南高校)
_____ さん (湘南高校)

(実践2)

_____ さん (厚木高校)
_____ さん (厚木高校)
_____ さん (茅ヶ崎北陵高校)
_____ さん (湘南高校)
_____ さん (厚木高校)
_____ さん (宮田さん)
_____ さん (湘南高校)

ベスト POI に選ばれた皆さん

(実践1)

_____ さん (横須賀高校)
_____ さん (横須賀高校)
_____ さん (湘南高校)
_____ さん (多摩高校)
_____ さん (湘南高校)

(実践2)

_____ さん (厚木高校)
_____ さん (茅ヶ崎北陵高校)
_____ さん (横須賀高校)
_____ さん (湘南高校)



PDA 神奈川県高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年10月3日（日）9:00-11:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒27名（横浜平沼高校、鎌倉高校、相模原高校、希望ヶ丘高校）、教員6名

ジャッジ：PDAスタッフ、希望ヶ丘高校、鎌倉高校、都留文科大学

はじめに、横浜平沼高校校長の鐘先生よりご挨拶いただきました。「即興型英語ディベートでは、英語力などだけではなく考えてはっきり説明することが重要です。また、他の高校の生徒と交流して刺激を受け、交流大会へのモチベーションを上げる機会にしてください。」とエールが送られました。



鐘校長先生によるご挨拶

次にPDAスタッフよりルールの確認を行い、POI（Point of Information）の練習を行いました。POIは相手チームのスピーチ中に質疑応答をリクエストすることができるルールです。POIをすることで、聞き逃してしまったポイントを確認するだけでなく、反論の布石となる質問をすることでお互いの議論を深めることができます。練習ではPOIのポーズをしながら「POI!」とすることができました。

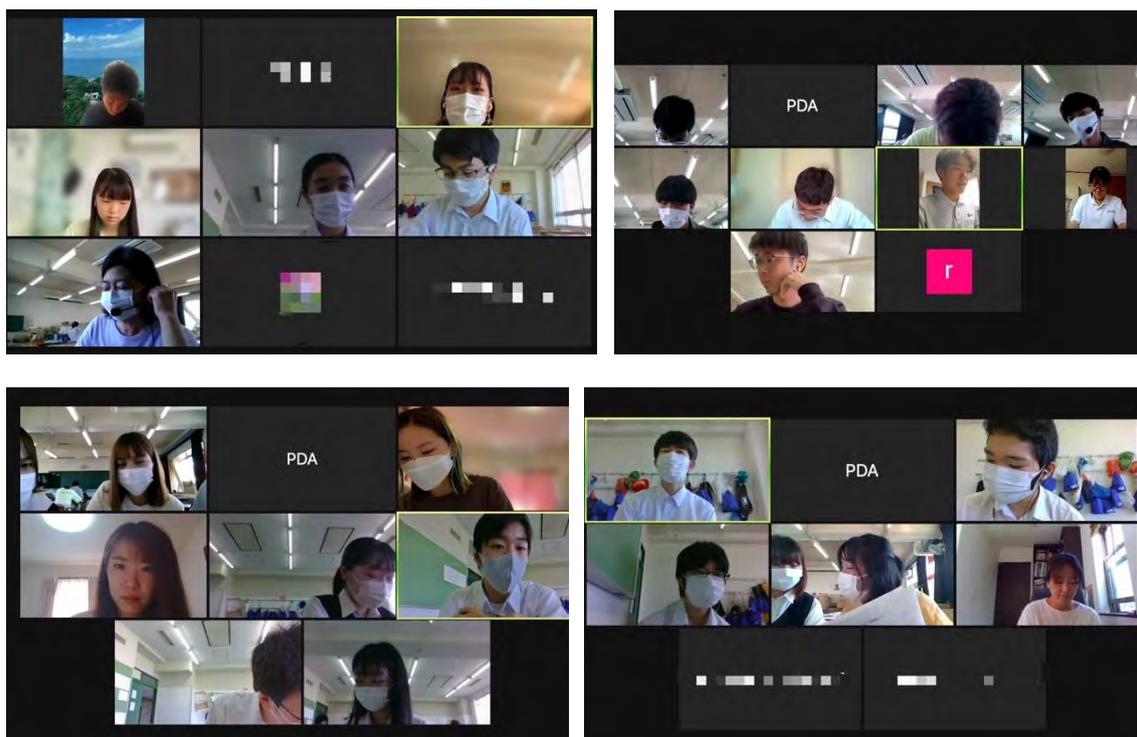


POIの練習

実践（１）の様子

実践（１）でディベートの流れを把握しようと、準備時間で相手のポイントを予想したり、ディベート中もチームメイトと協力したりする様子が見られました。あらかじめ書いていたメモを読み上げるのではなく、考えたアイデアをその場で英語にして伝えようと一生懸命言葉を紡ぎました。

ディベートが終わると、「これまでどんな練習をしたの？」などディベートについて情報共有をしながら交流を深めました。



ディベートの様子

実践（２）の様子

実践（２）では、実践（１）でジャッジから受けたアドバイスを活かそうとアイコンタクトを意識したり、具体例を説明したりすることができました。また、POIもより活発に起こり、議論を深めようと積極的に質問する場面が多く見られました。

ディベートが終わると、エアー握手を交わし、お互いの健闘をたたえ合いました。そして、分散登校はどのような様子なのか、オンライン授業の内容、英語ディベートの練習方法などお互いの学校の様子やディベートのことについて話し、和気藹々を交流する様子が見られました。



POIの様子



エアークラッシュ



ディベート後の交流

最後に、2 ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「他校との交流が楽しかった。」「学年関係なく交流できることがすごいと思った。」「実体験を交えてスピーチすることができてよかった。」「とてもあたたかい雰囲気の中ディベートや交流ができてよかった。」と感想を述べました。



本日の感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・コロナの影響でなかなか学校同士で交流が出来なかったので楽しかったです。 ディベートでも本番のような緊張感でできたのでよかったです。（鎌倉高校）
- ・オンラインだけど進行がしっかりしていて取り組みやすかったです。初めてですが戸惑わずに出来ました！（希望ヶ丘高校）
- ・普段とは違う感覚でディベートができたので今回得たものを練習に繋げていきたいなと思います。（横浜平沼高校）
- ・すごく緊張したけれど、同じような英語力もしくはそれ以上の人たちと対話して自分の英語力にまだまだ発展できるなと思いました。ベストディベーターの方も言っていたように、お互いが尊重し合っていてとても楽しかったです。（横浜平沼高校）
- ・敵ではなく、互いに高め合う仲間という雰囲気が出ていて、とてもやりやすかった。（鎌倉高校）
- ・今どきのお題についてたくさんの実体験を混ぜて話しているので体験できて楽しかった。 自分の力を試せたり、レベルをより高められたのでいい体験になった。（横浜平沼高校）
- ・最初はとても緊張しましたが、みなさんと交流していくうちにとても楽しめましたし、今までにないくらい英語を考えて話すことが出来ました！相手の主張を聞くという作業も、大変でしたがとても良い経験になりました！（希望ヶ丘高校）
- ・普段、英語で人とこんなに話すことがなかったので、緊張しましたが、多くの人との交流ができて楽しかったです。（希望ヶ丘高校）
- ・他の学校の人との交流が少ない中 交流ができたのは良かったです。ディベートの中で定義を聞き間違えたりしたのでリスニング力の向上をこれから目指したいと思いました。（横浜平沼高校）
- ・ディベートという繋がりでは他校の方々と交流し、英語ディベートの面でも、それ以外の面でもたくさんの刺激を受けることができました。また交流会を行いたいと思いました。（希望ヶ丘高校）
- ・今回、初めて英語ディベートをしたが言いたいことを英語にする、相手の言っていることを理解して返すことの難しさを知った。でもそれと同時に言いたいことを言えた達成感も味わうこともできた。もっと英語を話せるようになりたいと思わせてくれた。（相模原高校）
- ・今日は即興型英語ディベートを通して他校の生徒との交流を行い、とても有意義な体験ができました。ありがとうございました。（横浜平沼高校）

ベストディベーターに選ばれた皆さん

(実践1)

_____ さん (鎌倉高校)
_____ さん (相模原高校)
_____ さん (横浜平沼高校)
_____ さん (横浜平沼高校)
_____ さん (希望ヶ丘高校)

(実践2)

_____ さん (相模原高校)
_____ さん (希望ヶ丘高校)
_____ さん (横浜平沼高校)
_____ さん (鎌倉高校)

ベスト POI に選ばれた皆さん

(実践1)

_____ さん (鎌倉高校)
_____ さん (横浜平沼高校)
_____ さん (希望ヶ丘高校)

(実践2)

_____ さん (横浜平沼高校)
_____ さん (鎌倉高校)



2021 年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021 年 10 月 8 日 (金) 14:00-17:00

会場：オンライン開催(Zoom)

参加者：教員 35 名 (横浜翠嵐高等学校、横浜平沼高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、横浜国際高校、光陵高等学校、希望ヶ丘高等学校、川和高等学校、柏陽高等学校、多摩高等学校、横須賀高等学校、平塚江南高等学校、鎌倉高等学校、湘南高等学校、小田原高等学校、茅ヶ崎北陵高等学校、相模原高等学校、厚木高等学校、大和高等学校)

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ・神奈川県教員、九州大学

はじめに、PDA 代表理事中川より前回の研修の際のアンケートへフィードバックが行われました。交流大会の目的とは部活動のためではなく、ジャッジをする人の生きてきた背景が反映されることはあることや、ジャッジのメモの取り方について説明がありました。

アンケートのフィードバック①

一番聞きかかったジャッジの方法論がメインの内容でしたので、とても満足しております。

本日は行われました第3回の録画を共有させていただきます。こちらの録画は4枚参加者限定となりますので、ご転送はお控えください。公開範囲は「自分」です。アンケートに対する回答、およびジャッジレクチャーとなります。ご閲覧されました先生方、是非ご確認ください。*****

ミーティングの記録:

英語の問題 (英単語、文法など) ではない、「内容」に関わる部分の指導力

初めてジャッジを実践したが、個人へのコメントを残す余裕がなかった。さらに見学回数を積んで、ディベートの運営とノートテイキングを同時にできるようにしたい。

ジャッジとして勝敗をつけるのが非常に難しいです。最終的には私自身の主観が入るは避けられないと思います。今回他のジャッジの方の多数と違う結果になってしまいました。英語の授業においてはそれでも全く問題はないと思いますが、10月30日の大会では、部活動で勝利を目指して練習してきている生徒たちに自信を持ってジャッジできるか不安です。

1. 交流大会の目的+部活のため
2. 最終的に主観が入る
→ (最終的には生きてきた背景を踏まえた判断)
例) 選挙に行く途中に死亡<アフガン>
3. 多数と違う結果
✓ 厳密な正解はない
✓ 論理の正しい方にはある程度正解有
✓ その論理が分かりやすいかは別

★1人1人のジャッジが価値...

PDA 代表理事中川による振り返り

その後、Government (肯定側)、Opposition (否定側)、Judge (審判) に分かれ、ディベートとジャッジの実践が行われました。準備時間では、Government と Opposition は相手の意見を予想しながらポイントを考え、ジャッジの教員は自己紹介をし、司会進行を行うチェアパーソンと、タイムキーパーの役割を決め、両チームの意見としてどのようなポイントを出すか、ディスカッションを行いました。

ディベートでは POI (Point of Information) も活発に行われ、質問とそれに対する返答を通して議論が深まっていきました。

ディベートが終わると、ジャッジの教員が自身の勝敗とその理由を簡潔に述べ、その後メインジャッジのスタッフが勝敗、勝敗の理由、個人コメント、ベストディベーター・POI の発表などフィードバックを行いました。



スピーチの様子



POIの様子



メインジャッジによるフィードバック

その後休憩をはさみ、長野県伊那北高等学校の池上博先生より、他府県事例発表がありました。授業の中に即興型の英語ディベートを導入していった過程や、実際に授業でディベートを行う際の教室の机配置の工夫、論題や、ディベートでのクラスマッチ開催など様々な観点から即興型英語ディベートの授業導入についてご説明いただきました。



池上博先生（長野県伊那北高等学校）による事例発表

その後、前回同様 3 つのグループにわかれ、研究授業発表に向けたディスカッションが行われ、授業実践などについて情報共有を行いました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ 4回目のディベートになりますが、まだまだ未熟だなと感じます。自分の役割を自覚することに加え、自分自身の英語力を伸ばすことも必要だと感じる研修でした。（鎌倉高校）
- ・ 全員ミックスのラウンド、とても刺激的でした。さすが先生方で、表現や語彙の活用、説得力のあるスピーチの構成等、とても勉強になりました。また次回もよろしくお願いいたします。（柏陽高校）
- ・ ディベート実践、授業での取り組み例、情報交換の時間など、3時間の研修でしたが多くの経験をし、学ぶことが出来ました。それぞれの間に休憩を挟んでくださったのも有り難かったです。本日の研修、どうもありがとうございました。（横浜平沼高校）
- ・ 池上先生の話はとても興味深かったです。普段私は授業で生徒にジャッジをやらせていませんが、生徒にやらせることの意義も感じられました。ただ実際は教室の問題（スペース不足など）等もあり、難しさも感じます。マスクをつけ、大人数が同時に話している中で、教員も生徒の意見をどう聞き取ればいいのか、今苦勞しています。（大和高校）
- ・ 実践紹介がとても有意義でした。ありがとうございました。（相模原高校）
- ・ 実際の授業実践のお話を聞いて、特に実際の風景が動画で見れてよりイメージがわかりました。色々と考慮することや学校によっても状況が変わってくるのがより分かり、いろいろな要素をくまないといけないことがよく分かりました。ありがとうございました。（湘南高校）
- ・ ジャッジのコメントに何を含めるべきなのかを教わり、ジャッジの役割を理解することができた。（光陵高校）
- ・ 久しぶりに自分がディベーターとして参加して、純粋に楽しめたと思います。生徒に指導する中でも、自分もどんどんやってみるなどして、一緒に楽しめたらと思いました。毎回、ご準備等、ありがとうございました。（柏陽高校）
- ・ 実践例を事細かに教えていただいて非常に参考になりました。（湘南高校）
- ・ 他校の取り組みがみれて良かったです。（鎌倉高校）
- ・ 先日の感想についてのフィードバックを丁寧にいただきありがとうございました。10月30日の大会では精一杯ジャッジをさせていただきます。よろしくお願いいたします。（多摩高校）
- ・ ポイントの重要性の説明を抜いてしまうことが多いことに気づきました。第三者の視点（ジャッジ）から自分のスピーチをフィードバックしてもらうことが大事だと思います。（光陵高校）

ベストディベータに選ばれた皆さん

_____先生（希望ヶ丘高等学校）

_____先生（柏陽高等学校）

_____先生（横浜緑ヶ丘高等学校）

_____先生（柏陽高等学校）

ベスト POI に選ばれた皆さん

_____先生（柏陽高等学校）



PDA 神奈川県高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年10月9日（日）9:00-11:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒28名（柏陽高校、横浜緑ヶ丘高校、大和高校、光陵高校、川和高校）、教員8名

ジャッジ：PDAスタッフ、川和高校、柏陽高校、岩手医科大学、慶應大学

はじめに、柏陽高校副校長の田代先生よりご挨拶いただきました。「お互いを高め合う機会にしてください。」とエールが送られました。

次にPDAスタッフよりルールの確認を行い、POI（Point of Information）の練習を行いました。POIは相手のスピーチ中に質疑応答を要求することができるルールです。POIをすることで相手スピーチのわからなかった部分がより明瞭になったり、反論の布石となるPOIをすることで、より深い議論をすることにつながったりします。スタッフの「せーの！」という声に合わせてミュートを解除し「POI！」と言いながらそのポーズをすることができました。



田代副校長先生（柏陽高校）によるご挨拶



POIの練習

実践（1）の様子

実践（1）では、自身の小学校時代のエピソードや高校行事に関するエピソードなどを具体例として提示するなど、肯定側も否定側も描写に力を入れたスピーチが見られました。

ディベートが終わるとエアークラップを交わし、高校の耐震工事の話や部活動の話などを通して交流を深めました。

各テーブルにはジャッジがついており、ディベート後は勝敗だけでなく、個人コメントも行われました。生徒たちは、次のラウンドに活かそうとジャッジのフィードバックに聞き入っていました。中には質問をすることでもっと学びを吸収しようとする姿勢が見られるテーブルもありました。



ディベートの様子



POIで質問！



エアー握手



ディベート後の交流

実践（２）の様子

実践（２）では、定義のなかで論題に書かれているキーワードの具体的な説明を行ったり、自身の学校の定期テストの例を具体的に説明したりなど、実践（１）よりもさらに戦略的で具体的なスピーチが見られました。

ディベート後、ジャッジコメントを待つまでの時間で習い事や部活動について、通学方法について話し、交流を深めました。

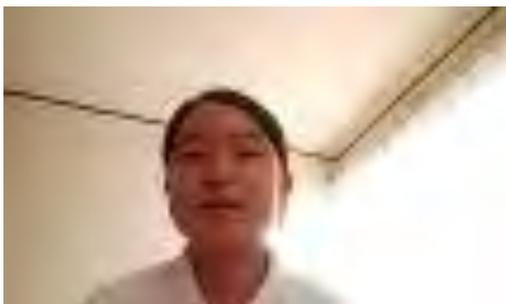


ディベートの様子



ディベート後の交流の様子

最後に、2ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「他校とのディベートが刺激になった。」「他校との交流が楽しかった。」「自分の未熟さを知った。もっと頑張りたいと思った。」「他の高校の人のスピーチを聞くことで、論の立て方や説明の仕方を学ぶことができた。ぜひ取り入れて今後活かしたい。」と感想を述べました。



本日の感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・他校の方々の参考になる点を多く学べた。（川和高校）
- ・poi がなかなかできなくて悔しかった。（川和高校）
- ・改めて自分の高校の人のディベートから参考になることをたくさん学べて充実した時間でした。ディベートのやり方がだんだん分かってきた気がしました。（川和高校）
- ・難しいトピックもあったけど、とても貴重な体験ができた。各校との交流もでき、オンラインではあったが楽しく次に繋がる勉強ができた。（川和高校）
- ・他校と触れ合うことで、様々な価値観に出会うことができとても充実した時間となりました。有難うございました。（川和高校）
- ・ジャッジの先生のアドバイスがすごく参考になったので感謝したいです。（光陵高校）
- ・様々な意見を聞くことができたので、英語でどう表現すればいいのかがとても参考になったので楽しい会だった。（光陵高校）
- ・試合後の交流が楽しかったです。（横浜緑ヶ丘高校）
- ・他校との交流もでき、自分のディベートをさらに成長させるためのいい機会になりました。ありがとうございました！（横浜緑ヶ丘高校）
- ・自分以外の方の発表を聞いて、より良い表現の仕方、話の構成の仕方などを学ぶことができた良い機会になりました。（横浜緑ヶ丘高校）
- ・初めてのディベート交流会で最初はとても緊張していましたが、自分の意見を伝えることができたので楽しかったです。反論の仕方がまだなれていないので、その論の立て方を今回学べました。この経験をいかしてこれからも頑張ります。（横浜緑ヶ丘高校）
- ・緊急事態宣言中は練習が十分に出来ていなかったのですが、他校の方のスピーチを聞くことで刺激をもらえて良かったです。ありがとうございました。（柏陽高校）
- ・ジャッジを待つまでの時間も楽しめました。オンライン練習会ならではのアドバイスもいただけてとても参考になりました。（柏陽高校）
- ・校内で練習するのとは違う緊張感があり、主張の組み立て方や話し方など、勉強になることがたくさんあったと思います。（大和高校）
- ・もっと知見をもった人として成長していきたいです。（大和高校）
- ・久しぶりにほかの高校の方とディベートをして、とても緊張しましたが楽しかったです。また、ディベートの内容に関してもアドバイスを貰えてとても勉強になりました。（大和高校）
- ・レベルが年々高くなってきていると感じます。（教員）
- ・生徒たちが活発に意見を述べていたこと。また IT を駆使してこのようにディベート練習会に参加できるのはコロナパンデミックがもたらしたギフトだと思います。（教員）

ベストディベーターに選ばれた皆さん

(実践1)

_____ さん (光陵高校)
_____ さん (緑ヶ丘高校)
_____ さん (緑ヶ丘高校)
_____ さん (柏陽高校)
_____ さん (大和高校)

(実践2)

_____ さん (柏陽高校)
_____ さん (柏陽高校)
_____ さん (光陵高校)
_____ さん (川和高校)
_____ さん (大和高校)
_____ さん (横浜緑ヶ丘高校)

ベスト POI に選ばれた皆さん

(実践1)

_____ さん (光陵高校)
_____ さん (緑ヶ丘高校)
_____ さん (柏陽高校)
_____ さん (大和高校)

(実践2)

_____ さん (横浜緑ヶ丘高校)
_____ さん (川和高校)
_____ さん (光陵高校)
_____ さん (川和高校)
_____ さん (川和高校)



PDA 埼玉県立浦和高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

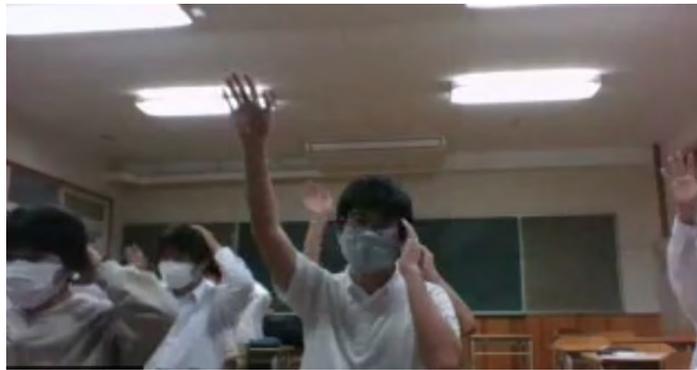
開催日時：2021年10月13日（水）16:40-18:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒14名

ジャッジ：PDAスタッフ、都留文科大学

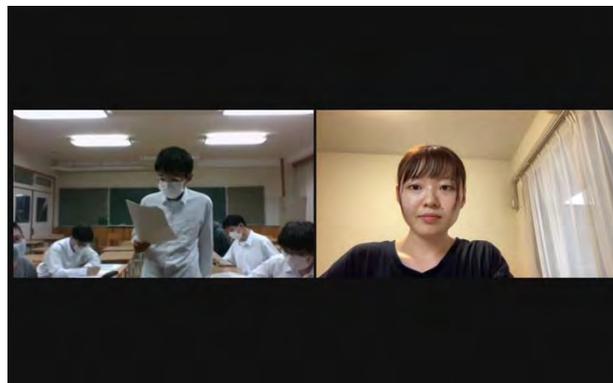
まず初めにルールの確認と POI（Point of Information）の練習が行われました。即興型英語ディベートをするのは今日が初めてだという生徒もあり、POI の練習に積極的に取り組む様子が見られました。



POI の練習

実践の様子

準備時間の短さに慌てながらもディベートでは具体的な描写を含む説得的なスピーチを披露しました。ディベート後はお互いの戦略を共有する姿も見られました。ジャッジによるフィードバック後も、「アイデアを思いつくためにはどうしたらよいか」などディベートに関する質問があり、意欲的に学習する様子が見られました。



スピーチの様子

最後に、実践でベストディベータに選ばれた生徒が「なかなかアイデアが思いつかず大変だったか充実していた。」「同級生や先輩からのフィードバックではなく、ジャッジからフィードバックをもらえたことが貴重だと思った。」「このディベートセミナーに参加して友達が増えた。チームメイトと協力するのが楽しかった。」と感想を述べました。



本日の感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・今まで自分は深く考えず、上手く意見を言っているように見せかけていたが、プロを前にそんなことは筒抜けだったと気付いた。一見説得力があるように見せるのではなく、論理的に話していこうと思う。
- ・他校のチームとも対戦できるということで、挑戦していきたいです。 ジャッジの方からのアドバイスを吸収して、これからも頑張って練習していきたいと思います。
- ・何も話せなかったが、ディベートする難しさがわかって良かった。また、ジャッジの方の分析が詳しくて、物事の考え方の多様さに驚いた。
- ・準備の時間が全然なく、すごい焦ってましたが何とかできたのですごく楽しかったです。
- ・改善点等が見つかったので今後活かしたい。
- ・初めてディベートを行ったのですが、短い時間の中で即興で原稿を作り上げていくことの難しさを肌で感じる事ができ、議論で求められるレベルの高さを思い知らされ刺激になり、とてもいい経験になりました。
- ・反省点が自分の中で沢山見つかったので、次回は成長して参加したい。

ベストディベータに選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん

ベスト POI に選ばれた皆さん

_____ さん

PDA中四国公立高校 即興型英語ディベート交流大会 2021

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021年10月17日(日) 9:00-13:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：6校、12チーム (山口県立山口高校、香川県立高松高校、愛媛県立松山東高校、
徳島市立高校、徳島県立城ノ内高校、神奈川県立相模原高校 (Swing))

参加者：生徒38名、教員8名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、横浜国立大学、京都大学

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事中川智皓より、「英語学習において、内容も合わせて学ぶことでより英語力も向上します。その点で英語ディベートを通して言語能力は成長します。頑張ってください。」とエールが送られました。次に、香川県立高松高校の中筋校長先生より、「画面越しではありますが、他県の高校生とこのようにディベートするという機会をみなさん楽しみにしていたと思います。あたたかい交流も楽しんでください。」とご挨拶いただきました。

次にPDAスタッフより、参加した6校の学校紹介やPOI(Point of Information)の練習を行いました。



PDA 代表理事 中川智皓より挨拶



高松高校 中筋校長先生よりご挨拶



POI (Point of Information) の練習

第1ラウンドのお題は「**We should outsource coaching of club activities. (部活動の指導を外注すべきである。)**」でした。学校の先生の負担について、部活動における練習の質の向上について、外注したコーチと学校の先生の責任の所在についてなど様々な観点から議論が行われました。POIも積極的に交わされ、議論を深めようとする姿勢が見られました。ディベート後は、普段英語の勉強方法や、ディベートの内容について話し、交流する様子が見られました。「英語ディベートを初めてやったときは10秒しか話せなかったし、自己紹介もできなかったけど、繰り返しディベートをやってみて少しずつ話せるようになった」というエピソードを受けて刺激を受ける様子も見られました。



みんなでリフレッシュ(山口 vs 高松)



堂々とスピーチ(城ノ内 vs 山口)



POI! (城ノ内 vs 高松)



ディベート後のエアークラッシュ(高松 vs 徳島市高)



ディベート後の交流(相模原 vs 徳島市高)

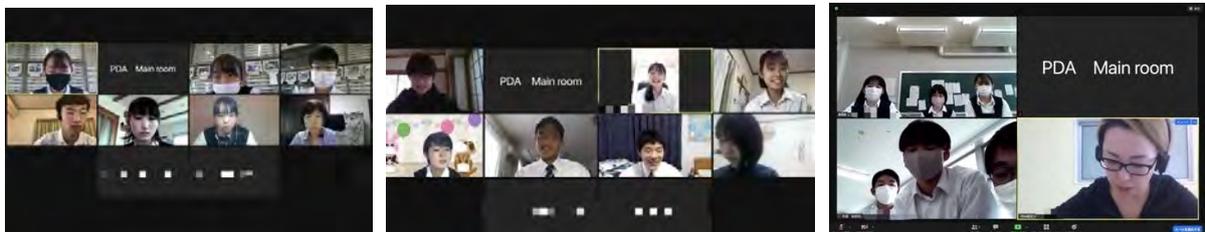


ジャッジのフィードバック(徳島市高 vs 松山東)

続く第2ラウンドのお題は、「*Cosmetic surgery should be banned. (美容整形を禁止すべきである。)*」でした。コンプレックスを抱えている人々にとって重要なのではないか、自己実現の一つとして重要だ、ルッキズムを加速させるのではないか、など第1ラウンドよりもさらに白熱した議論が行われました。POI もより活発に交わされました。ジャッジによるフィードバックを待っている時間にお互いにもっとスピーチしたかったことについてや、POI できなかったけど聞きたかったことなどについて話し、お互いのポイントの理解を深めました。



ディベート・POIの様子



ディベート後の交流・ジャッジによるフィードバックの様子

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*Teleworking makes people happy. (テレワークは人々を幸せにする。)*」でした。電子機器に強い人と苦手な人で差が生まれるのはまずいのではないか、感染症予防になり良いなど、現在の社会背景を踏まえ、具体的描写も交えたスピーチが披露されました。

結果は見学していた生徒らの投票により、Government（肯定側）の勝ちとなりました。



エキシビジョンディベートの様子

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

- ・ PM _____さん (山口高校)
- ・ LO _____さん (徳島市立高校)
- ・ MG _____さん (高松高校)
- ・ MO _____さん (高松高校)
- ・ LOR _____さん (城ノ内高校)
- ・ PMR _____さん (松山東高校)



〈チーム賞〉

- ・ 1位 城ノ内高校 A
- ・ 2位 高松高校 A
- ・ 3位 城ノ内高校 B
- ・ 4位 山口高校 A
- ・ 5位 高松高校 C
- ・ 6位 松山東高校



1位 城ノ内高校 A



2位 高松高校 A



3位 城ノ内高校 B



4位 山口高校 A



5位 高松高校 C



6位 松山東高校

〈ベストディベーター賞〉

- ・ _____ (城ノ内 B)
- ・ _____ (高松 A)
- ・ _____ (山口 A)
- ・ _____ (相模原)
- ・ _____ (相模原)
- ・ _____ (城ノ内 A)
- ・ _____ (高松 C)
- ・ _____ (高松 B)
- ・ _____ (高松 B)
- ・ _____ (徳島市高 A)
- ・ _____ (松山東)
- ・ _____ (山口 B)



〈POI 賞〉

- ・ _____ (相模原)
- ・ _____ (城ノ内 B)
- ・ _____ (松山東)
- ・ _____ (相模原)
- ・ _____ (相模原)
- ・ _____ (城ノ内 B)
- ・ _____ (城ノ内 A)
- ・ _____ (高松 C)
- ・ _____ (高松 A)
- ・ _____ (徳島市高 C)
- ・ _____ (徳島市高 A)
- ・ _____ (山口 A)



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・他校の生徒とディベートして、高いレベルのディベートを体験することができたから。（徳島市立高校）
- ・今日はいろんな高校とディベートをして、聞いて、考えも深まったし、交流が出来たので楽しかったです。（松山東高校）
- ・ジャッジの方のアドバイスが凄く参考になったし、自分の足りないところを再認識するいい機会になりました。ありがとうございます！！（相模原高校）
- ・初めてのディベートだったが、たくさんの方が学べて良かった。刺激になる人がたくさんいてこれからのモチベーションにも繋がりました。（山口高校）
- ・自分の考えと論題の賛否が噛み合わず、理由を考えるのがとても難しかったが、自分の持っていない考え方についての論理的な理由を探そうとするのは楽しかった。（徳島市立高校）
- ・学校の授業でも英語で討論をしてみたい。（松山東高校）
- ・他校の英語力に驚き、英語をもっと上達したいという意欲が出てきた。緊張したけど出てよかったと思う。（徳島市立高校）
- ・ジャッジの先生がアドバイスをくれたり強い高校の人と交流できたりしたのが良かったです。（山口高校）
- ・他の高校のレベルの高い生徒さんと交流できて素晴らしい刺激になりました！（高松高校）
- ・普段関わることの出来ないジャッジの方々にアドバイスを沢山頂くことができ本当に良い体験になりました。（城ノ内高校）
- ・最初は緊張して頭がうまく回らなかったけど2回目は1回目の反省を生かして話せて良かった。（高松高校）
- ・他校の生徒さんがどのように表現をしているのかから学ぶことが多くあり、またジャッジの方のアドバイスも的確で次回改善していけるようにしたいです。（松山東高校）
- ・今まで交流したことのなかった高校の皆さんと交流できたことが、とても良い刺激になりました。たくさんアドバイスをいただいて、改めてディベートの基本の部分を振り返る良い機会にもなったので、これからの活動に生かして行きたいです。（山口高校）
- ・本当に楽しかったです。議題を考えるなかで、社会にもっと目を向けて考えたいと思いました。今日はありがとうございました。（山口高校）
- ・即興型は毎回、時事問題が話題になるので、勉強になりました。また、ディベート後の交流も本当に楽しく、ディベート仲間を増やせました。（城ノ内高校）
- ・今回は、生徒の試合を見てジャッジの先生の的確なコメントを聞くことができ、とてもいい勉強になりました。生徒にとってもとてもいい刺激になりました。ありがとうございました。（教員）
- ・自分がディベートをするときにも指摘されることですが、生徒のラウンドを聞いていても、社会に与えるインパクトを詳しく illustrate するというのが足りないと思うことが多かったです。このあたりができるライティングなどにも活かせるのでその点を普段の指導で埋めていく方法を考えねばと思います。（教員）
- ・初めて対戦する高校も多く、生徒にはいい経験になりました。ジャッジの先生からは的確に弱点を指摘いただいたようで、今後の課題が見えたようです。コロナ禍で、なかなか思うような言語活動を授業に取り入れられない期間が長かったのですが、ジャッジの先生のご指摘を聞き、私自身、新しい授業導入の方法が思いついたので、少しまた考えていきます。ありがとうございました。（教員）



PDA 千葉県立船橋高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年10月21日（木）13:30-15:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒8名

ジャッジ：PDA スタッフ

まず初めにルールの確認と POI（Point of Information）の練習が行われました。POIは片手を頭に乘せ、もう片方の手を伸ばすポーズで行います。POIの練習ではこのポーズをしっかりと行うことができました。



POIの練習

実践（1）の様子

ルール確認の後は早速、ディベートの実践です。ディベート中は、しっかり相手の話を聞き、理解した上で反論や再構築を行う様子が見られました。ときにはPOIを行い、相手のスピーチの中でわからなかった部分について「具体的にどういうことか」とたずねる場面が見られました。



スピーチの様子

実践（２）の様子

休憩時間を挟み、実践（２）の始まりです。実践（１）でジャッジから受けたアドバイスを活かしながら立論や反論を行いました。具体的描写をしたり、相手の論の弱いところを指摘したり、より戦略的にスピーチをする様子が見られました。

実践の後、最後にベストディベータに選ばれた生徒が「実践（１）でのフィードバックを実践（２）で実践してみたが、なかなか難しかった。実践経験を積んで効果的な反論などができるようになりたい。」と感想を述べました。



ディベートの様子



本日の感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・今まで考えが及ばなかったところについてアドバイスをいただけたので、新しいことも考えながらディベートすることができ楽しかったです。
- ・反論を考えるのはやはり難しかったです、改善点などをたくさん知ることができて良かったです。
- ・全体のグループとしてのアドバイスに加えて、一人一人についてのフィードバックをしてくださって、今の状況についてよく知ることができました。また人に見られるという緊張感もありながらだったのでより気を引き締めて取り組めたと思うのでよかったです。ありがとうございました！
- ・久しぶりにディベートをやりましたが、皆で意見を出し合って思考を深めていくのはやっぱり楽しかったです。今後は先生に頂いた改善点をもとに、さらにディベートの実力を高めていこうと思いました。
- ・自分たちの弱かったところや思い付かなかったような反論を教えていただけてなるほどと思った。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん

ベスト POI に選ばれた皆さん

_____ さん



PDA 大阪府立天王寺高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年10月23日（土）14:00-16:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒6名

ジャッジ：PDA スタッフ

まず初めにルールの復習と POI（Point of Information）の練習が行われました。POI は相手のスピーチ中に質疑応答を要求することができるルールで、片手を頭に寄せ、もう片方の手を伸ばすポーズで行います。POI の練習ではこのポーズをしっかりと行うことができました。



POI の練習

実践（1）の様子

即興型英語ディベートを、初対面の人もいるという環境の中で行うことにやや緊張した様子も見られましたが、いざ論題が発表されると役割を決め、与えられた論題についてどんなことが話せるかチームメイトとテキパキと準備をスタートしました。ディベートでも具体例を交えたり、相手チームの反論中に POI を行い、提示された代替案についてその具体的な方法について質問したり、積極的にお互いの意見を深めようと努めました。

実践（2）の様子

休憩時間を挟み、実践（2）の始まりです。実践（1）で受けたアドバイスを活かしながら、自身のエピソードを具体例として説明したり、他の類似したものとの違いを説明したり、相手の反論を予測し、前もってその反論に対応する分析を提示したり、よりレベル

アップしたスピーチが展開されました。



P01 での質疑応答の様子

ディベートの実践を終えると、実践（2）でベストディベーターに選ばれた生徒が、「知っている友達もおらず、ルールもあまり把握していない中でディベートを始めてとても緊張したけれど、チームメイトと協力して楽しくディベートできた。」「はじめはまとめの役割で、どうすればいいかわからなかったけれど、1ラウンド目に受けたアドバイスをなんとか活かそうと頑張れた。」と本日の感想を話しました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・初対面の生徒さんとも切磋琢磨してディベートができた。本当に楽しかったです！
- ・英語での議論がそもそもエキサイティングだった上に、指導でランクアップした気がした。ただただ楽しかった。それに尽きます。
- ・自分の英語力にはあまり自信がなかったけれども、気にせずに言いたいことをたくさん喋ることができたし、こんな緊張は日本語の議論ではなかなか生まれないのでとても楽しかったです！
- ・もっと論理的に話せる様にしたかった。
- ・ディベートの授業とは英語で話したのでまた違った感覚だった。
- ・ディベートをする上でのポイント、アドバイスが、自分では気づくことが出来ないことが沢山あり、英語だけでなく今後の学校生活での話し合いにも役に立つなと思いました！とても良い経験をすることが出来て本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん
_____ さん

ベスト POI に選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん



PDA 千葉県立千葉高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年10月25日（月）15:30-17:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒9名

ジャッジ：PDA スタッフ、九州大学

まず初めにルールの確認と POI（Point of Information）の練習が行われました。POI は相手のスピーチ中に質疑応答を要求することができるルールです。具体的にどのような場面で POI をすると効果的か、議論が深まるかについて説明され、POI のポーズもしっかり行うことができました。



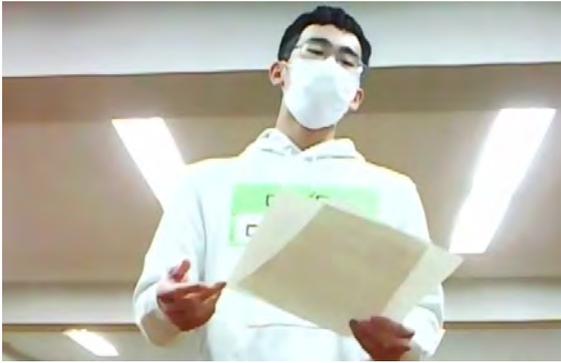
POI の練習

実践（1）の様子

POI の練習を終えると、早速実践の始まりです。ニュースを見て知っていた具体的な事例を取り上げたり、現在の社会背景を踏まえた具体例を提示したり、ジャッジを説得するための工夫が多く見られました。ジャッジによるフィードバックでは、比較の重要性について解説があり、その具体的な方法についてもコメントが行われました。

実践（2）の様子

休憩時間を挟み、実践（2）の始まりです。タイムリーな論題ということもあり、具体例を提示する際に自身の学校の様子や最寄り駅の様子を紹介する場面も見られました。ディベート後はお互いの健闘をたたえ、エアー握手が交わされました。



ディベートの様子



健闘をたたえてエアークラッシュ

実践の後、最後にベストディベーターに選ばれた生徒が「思ったように話せなかったが、今日感じたことを次に活かしたい。」「ジャッジから受けたアドバイスを次に活かしたい。」「普段とは異なる学びがあった。」と感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分の英語の改善点を知ることが出来た。
- ・いつもは気づかないようなことを教えていただいたり、どうやればうまくいくかを具体的にアドバイスしていただいたので、勉強になった。
- ・楽しくディベートすることができて良かったです。
- ・久しぶりにやったディベートで、きちんとジャッジについていただいて、うまくできるか不安だったし、実際思うように話せなかったのですが…いつもはぼんやりとした感じで終わってしまうところが、もっとこうしたらよいというアドバイスを頂けて、自分の課題が明確になった気がします。とてもいい機会になりました。そして何より、きちんとしたディベートができて楽しかったです！！

ベストディベーターに選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん
_____ さん
_____ さん



PDA 東京都立西高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年10月26日（火）15:30-17:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒24名

ジャッジ：PDAスタッフ、九州大学、東京外国語大学

「即興型英語ディベートをするのは初めてだという人は手を挙げてください」というとたくさんの方が挙がり、ドキドキしている様子が伝わる中、実践の前にルールの確認や POI（Point of Information）の練習を行いました。POI の練習では、POI お決まりのポーズをしっかりと行うことができました。



POI の練習

実践（1）の様子

POI の練習を終えると、早速ディベートにチャレンジです。都内の高校の事例などを挙げながら説得的なスピーチが繰り広げられました。

ジャッジからのフィードバックでは、勝敗だけでなく個人コメントも行われます。全員に対してよかった点と改善点それぞれ伝えられました。



ディベートの様子



ジャッジによるフィードバック

実践（２）の様子

休憩時間を挟み、実践（２）の始まりです。実践（１）でジャッジから受けたアドバイスを活かしながらスピーチを行いました。中には、自身の中学生のときのエピソードを具体例として提示する場面も見られました。

実践の後、最後にベストディベータに選ばれた生徒が「自分の意見を伝えるのは難しかったが、ディベートのやり方などが把握できた。もっと相手が何を言っているのかわかるようになりたい。」「ディベートの流れがわかったので、今後を活かしたい。」「どうやったら論理的に物事を考えられるのかということを知れた。」と感想を述べました。



ジェスチャーを交えてスピーチ



本日の感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分の意見を英語で伝えるのは難しかったし、苦勞した。また、相手の意見を理解することでさえ苦勞したがおもしろかった。
- ・英語力向上にもつながり、楽しかった。
- ・初めてだったのでとても緊張しましたがとても為になると思いました。
- ・みんなと仲良くなれた。
- ・即興で英文を考えるという初めての経験ができた。自分の考えを英語で話すというのがとても難しかった。
- ・自分たちの意見を強くすることとともに、相手の意見について、それは違ってることの理由を考えるのも大事だと分かって、今後のディベートや討論の参考になった。
- ・自分の意見を英語で論理的に伝えることは難しかったが自分のためになった。
- ・ディベートを行うことは難しかったが、学べることが沢山あったので今後に活かしていきたいと思った。
- ・思ったように話せたわけではなかったが、この時間の中で自分の成長を感じられたのが、これからのモチベーションになった。
- ・先生方のアドバイスによって、ディベートでの考え方をよく学ぶことが出来た。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん

ベスト POI に選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん

PDA神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会 2021

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021年10月30日(土) 9:00-15:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：18校 (横浜平沼、横浜国際、横浜翠嵐、横浜緑ヶ丘、光陵、大和、川和、柏陽、多摩、横須賀、鎌倉、湘南、小田原、茅ヶ崎北陵、相模原、厚木、希望ヶ丘、平塚江南)

参加者：生徒107名、教員38名

スタッフ：PDAスタッフ、東京大学、国際教養大学、九州大学

主催：神奈川県教育委員会、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

主管：学力向上進学重点校エントリー校連絡協議会 グローバル教育研究ワーキンググループ
4技能指導法研究グループ

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事中川智皓より、「どんな価値観を持ったジャッジに対しても説得的なスピーチをすることが重要です。理由や具体例を説明することを意識しながら取り組んでください。」とディベートにおけるアドバイスの説明がありました。次に、教育委員会の田中先生より英語でエールが送られました。「ディベートは個人競技ではなく、チームワークが重要です。チームメイトと一緒に頑張ってください。」という田中先生のメッセージに協力してディベートに臨もうと生徒がモチベーションを高める様子が見られました。そして、柏陽高等学校校長の井坂秀一先生より、「今日は『交流』大会です。特に相手高校の生徒と交流するという点について楽しみながら頑張ってください。」と激励のお言葉をいただきました。



PDA 代表理事 中川智皓より挨拶



教育委員会 田中先生よりご挨拶



井坂秀一校長によるご挨拶



PDI の練習の様子

開会式後、校長集合写真の撮影を行いました。ご多忙中、撮影にご協力いただきありがとうございました。



校長先生 集合写真

第1ラウンドのお題は「*Taking a junior high-school entrance exam does more good than harm.* (中学受験は害よりも利益をもたらす。)」でした。肯定側は、中高一貫になると高校受験をしない分、好きなことに時間を割けるようになる点や勉強する習慣が幼少期からつくことについて、否定側は、小学校のときに友達と遊ぶ時間が減る問題点について、塾に行くための金銭的負担や教育格差について議論しました。



厚木高校 vs 大和高校



希望ヶ丘高校 vs 鎌倉高校



POI！（光陵高校 vs 茅ヶ崎北陵高校）



POI！（相模原高校 vs 横須賀高校）



エア握手（厚木高校 vs 横浜国際高校）



エア握手（小田原高校 vs 横浜緑ヶ丘高校）



ジャッジによるフィードバック（鎌倉高校）

続く第2ラウンドのお題は、「*Japan should elect the prime minister by popular vote.*(日本は首相公選制を導入すべきである。)」でした。肯定側は癒着問題の解消や、マイノリティや若者の意見の反映、市民の責任について、否定側は政治知識がある議員による投票の方が良い、政策決定の効率などについてディベートを行いました。

ディベートが終わると、エア握手を互いに交わし、ジャッジによるフィードバックが行われるまでの時間に対戦校と交流を行いました。クラブ活動の話や英語学習の話について盛り上がる様子が見られました。



ディベート後の交流（横須賀高校・川和高校）

昼食時間は、ブレイクアウトルームの中で他の高校と交流を行いました。お互いに自己紹介をしたり、第1、2ラウンドでどんな話をしたのか共有したりしました。



ランチ交流会の様子

昼食を終えると、第3ラウンドです。お題は、「*Teaching by AI is better than by human. (AI先生は、人間の先生よりもよい。)*」でした。肯定側は教員の質や、授業の質の向上について、否定側は生徒のモチベーションを上げることができる存在の重要性、人間性の重要性について議論しました。ジャッジからのフィードバックに対し、自分たちの行ったスピーチの説得力をより上げるためにはどのようなことを言えばよかったか質問し、成長しようと努める様子が見られました。



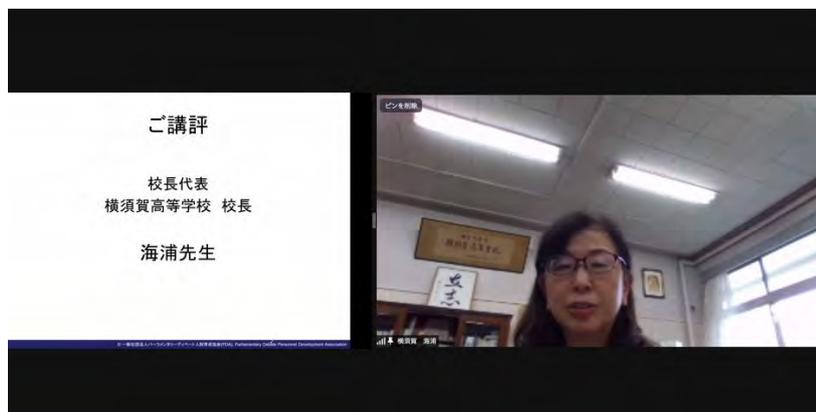
ジャッジによるフィードバックの様子

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*Japan should relocate the capital functions.*(日本は、首都機能移転をすべきである。)」でした。多くの生徒や教員が観戦している中、堂々とスピーチを行いました。エキシビジョンディベートの結果は、Zoomにてオンライン投票が行われ、6割を超える見学者の投票した肯定側の勝ちとなりました。



エキシビジョンディベートでのPOIの様子

閉会式では、エキシビジョンディベータ賞、チーム賞、個人賞の表彰を行い、横須賀高等学校の海浦校長先生よりご講評をいただきました。「悔しい思いをした人もそれをバネにしてこれから頑張ってほしいです。これからオンラインでコミュニケーションを取るのは当たり前の世の中になると思います。ぜひ今日の経験を活かしてください。」と労いのお言葉をいただきました。



海浦校長によるご講評

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

- ・ PM _____さん (多摩高校)
- ・ LO _____さん (湘南高校)
- ・ MG _____さん (大和高校)
- ・ MO _____さん (相模原高校)
- ・ LOR _____さん (厚木高校)
- ・ PMR _____さん (茅ヶ崎北陵高校)



〈チーム賞〉

- 1位 相模原
- 2位 湘南
- 3位 柏陽
- 4位 茅ヶ崎北陵
- 5位 川和
- 6位 平塚江南
- 7位 光陵
- 8位 横浜国際
- 9位 多摩
- 10位 鎌倉



1位 相模原高校



2位 湘南高校

〈ベストディベーター賞〉 ※★★は3回、★は2回選出

- ★★ _____さん (湘南)
- ★ _____さん (相模原)
- ★ _____さん (川和)
- ★ _____さん (光陵)
- ★ _____さん (鎌倉)
- _____さん (大和)
- _____さん (平塚江南)
- _____さん (平塚江南)
- _____さん (柏陽)
- _____さん (柏陽)
- _____さん (柏陽)
- _____さん (多摩)
- _____さん (多摩)
- _____さん (厚木)
- _____さん (光陵)
- _____さん (希望ヶ丘)
- _____さん (茅ヶ崎北陵)
- _____さん (茅ヶ崎北陵)
- _____さん (茅ヶ崎北陵)
- _____さん (鎌倉)
- _____さん (横浜緑ヶ丘)
- _____さん (横浜平沼)
- _____さん (横浜翠嵐)
- _____さん (横浜国際)
- _____さん (横浜国際)
- _____さん (横須賀)

〈POI賞〉 ※★は2回です

- ★ _____さん (川和)
- ★ _____さん (湘南)
- _____さん (横浜翠嵐)
- _____さん (大和)
- _____さん (平塚江南)
- _____さん (多摩)
- _____さん (相模原)
- _____さん (相模原)
- _____さん (湘南)
- _____さん (厚木)

- _____さん (厚木)
- _____さん (光陵)
- _____さん (希望ヶ丘)
- _____さん (希望ヶ丘)
- _____さん (横浜緑ヶ丘)
- _____さん (横浜緑ヶ丘)
- _____さん (横浜平沼)
- _____さん (横浜翠嵐)
- _____さん (横浜翠嵐)
- _____さん (横浜翠嵐)
- _____さん (横浜国際)
- _____さん (横須賀)
- _____さん (小田原)



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・他校との交流が単純にとっても楽しかったです。（希望ヶ丘高校）
- ・能力の高めることができたと思うから。自分の勉強のモチベーションになりました。（希望ヶ丘高校）
- ・エキシビジョンディベートがすごくて英語勉強の士気が上がりました。（横浜平沼高校）
- ・みなさんのレベルが高くてとてもいい刺激を受けました。（希望ヶ丘高校）
- ・普段にはないような緊張感とともに他校との交流ができてとてもいい経験になりました。（横浜国際高校）
- ・面白かったですし、まだまだだな～と他の高校を見て改めて実感しました。自分よりもすごい人がいる、という実感を持てたのもとても良かったです！（横須賀高校）
- ・レベルが高くてびっくりしました。もっと練習しなければいけないと思いました。（横浜翠嵐高校）
- ・思うようにスピーチできなかったが、他校からのインスピレーションを受けられてよかった。（希望ヶ丘高校）
- ・どの高校もとてもレベルが高くて圧倒されました。また、エキシビジョンに選ばれた人たちが凄かったです。オンラインで学校に集まるか家からやるかで違っていたので通信が悪かったりと、少しやりにくかったのが残念でしたが、もっと英語で意見を述べる練習を頑張りたいと思いました。また、色々な視点から論題を考えたり、元々の知識を深める必要があるなどと思いました。（横浜国際高校）
- ・楽しかったです。これからも他校と練習会がしたいと思いました。（川和高校）
- ・楽しかった！！（平塚江南高校）
- ・しっかりと話し合いができて楽しかったけれど、聞き取れないところがあったり、理由付けがしっかり出来なかった所があったので心残りだった。（大和高校）
- ・緊張して話が飛んでしまったりしたこともありましたが、より英語を頑張ろうと言う気持ちが強まりました。参加させていただきありがとうございました！（小田原高校）
- ・他校の方とディベートが出来ただけでなく、ジャッジの間にお話できて楽しかったです！見習いたい部分が多くあって参考になりました！（川和高校）
- ・全体的にリスニングが全然できなくて、他の人のレベルとの違いに悔しさもよりも驚きが勝ってしまいました。いい経験になったので次やる時までには練習を重ねていきたいと思います。（横浜翠嵐高校）
- ・緊張しましたが前よりも話せるようになっていたことが実感出来て嬉しかったです。（横浜平沼高校）
- ・本日はありがとうございました。英語が好きで、関心を持ち、始めたディベートですが、去年は出場できず悔しい思いをしました。なので今年は出場できた上、賞も頂けて本当に嬉しいです。これまでの練習の成果を存分に発揮し、先生方から頂いたアドバイスをもとにできました。より一層英語が好きになりました。今後も英語を楽しんで勉強に励んでいきたいと思います。（川和高校）
- ・私は練習時から反論をする担当を務めることが多かったけれど今回は予想していた考えが来たのもあっていつもよりスムーズに反論を返せたのが良かったです。また POI も積極的に行えたのでこれからも前向きにトライしていきたいと思います。（横浜翠嵐高校）

- ・普段はあまり練習試合ができない中、他校のディベートを見ることができ、いい経験になった。目標には届かなかったが、これからの練習のモチベーションになった。(多摩高校)
- ・討論の論理立てなど、英語以外の面でも今後を活かしていきたいと思います。また、チームでの協力した活動ができました。(光陵高校)
- ・他校との貴重な交流ができ、自分にとってよい経験になりました。(横須賀高校)
- ・悔いの残るラウンドもありましたがたくさんの気付きがある大会でとても楽しかったです。ありがとうございました！(厚木高校)
- ・他校と白熱した試合ができたからです。また、学ぶことがとても多く、自分がやりたいと思っていたこと、自分の課題を改めて発見しそれを改善したディベートをやることができました。達成感が凄くディベートの楽しさを感じました！(湘南高校)
- ・ジャッジのコメントがとても参考になった。普段の練習ではない新しい観点などがありとても有意義なものだった。(柏陽高校)
- ・他校のみなさんとの交流や新しい視点とても勉強になりました！！また、自分の改善するべき点も見つけられたのでよかったです。(相模原高校)
- ・あまりいつも考えたことがなくとても難しいと感じる論題が多くありましたが、それらへの考えを深めることで新しい考えを手に入れることが出来た気がします。今回色々な視点で物事を考えたことことをこれからの学習などにも役立てて行きたいと思います。(茅ヶ崎北陵高校)
- ・今までの練習の成果を完全に発揮できたとは思えなかったけど、練習を通して自分の英語力が上がり、それを今日の交流会で実感できたのはとても嬉しかったです！他の高校の生徒とも交流できて楽しかったです。(横浜緑ヶ丘高校)
- ・他校の人たちと交流できたことが楽しかった。(鎌倉高校)
- ・毎年レベルが上がっておりすごいと思いました。(教員)
- ・生徒たちの素晴らしいディベートが聞いて良かったです。また、初めてジャッジを公式の場で行って、緊張しましたが、良かったです。生徒たちがいきいきとしていてとても良かったです。授業でもぜひまた、ディベートを取り入れたいです。(教員)
- ・生徒にとってとても良い機会になりました！(教員)
- ・生徒たちは、日頃の練習の成果を発揮することができたと思います。教員も教員研修で学んだジャッジのノウハウを活かすことができました。(教員)
- ・生徒たちの生き生きした姿を見ることができ、とても良かったです。(教員)
- ・教員側として、次はここを強化してあげたい、という課題も見つかりました。ぜひ、今後につなげたいです。年々確実にレベルが上がっていて、継続することの大切さが本当に実感されました。(教員)
- ・生徒の学びあいを見ることができて有意義でした。(教員)
- ・生徒が真剣に、また熱く英語に向かっている姿に感動しました。レベルも非常に高く、感心しました。自分自身のジャッジも、もっと研鑽を積んでいきたいと思いました。(教員)
- ・私自身は初めてジャッジをさせていただきました。大会という中で緊張しましたが、実際にやってみないとわからないことが多く、とても勉強になりました。(教員)
- ・今年もこのような機会をつくっていただき、本当にありがとうございました。やはり、ジャッジの判定で生徒も納得がいないラウンドもあり、そのラウンドのジャッジはお一人でのジャッジだったので、3人でジャッジという変更は、良かったと思います。チェアパーソンとタイムキーパーの分担も、これならできるかもしれないと思うことができました。(教員)

【各校の様子】

●多摩高校



●鎌倉高校





● 柏陽高校



●横須賀高校



●横浜翠嵐高校



●相模原高校



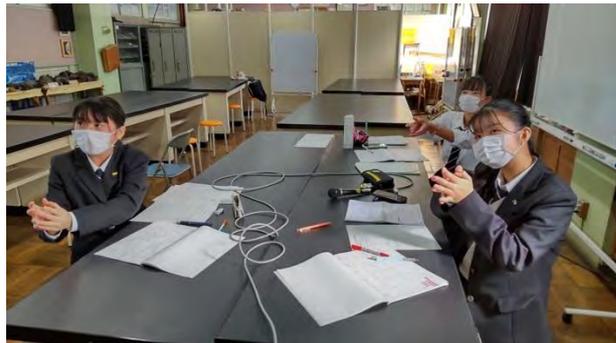
●希望ヶ丘高校



●茅ヶ崎北陵高校



●平塚江南高校



●横浜平沼高校





●厚木高校





PDA 埼玉県立浦和第一女子高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年11月2日（火）15:30-17:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒7名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに、ルールの復習と POI（Point of Information）の練習を行いました。POI は相手のスピーチ中に質疑応答を要求することができるルールですが、POI を行う具体的なシチュエーションや、戦略として活かすためのコツについて解説が行われました。



POI の練習

実践（1）の様子

POI の練習が終わると、ディベートの実践です。今回は1年生チームと2年生チームに分かれての対戦です。ディベートでは、重要性を意識したスピーチをお互いに行い、将来のこういった場面で重要になるのか、結果的にどのような問題につながるのかといった具体的な描写をすることができました。



実践（２）の様子

次は1年生と2年生の混合チームを作った対戦です。相手のポイントに対して重要性の観点から反論したり、具体例を説明したり、まとめの役割で自分たちのポイントの補強となる分析を提示したり、実践（１）よりもさらに白熱したラウンドとなりました。

ディベートの後はエアー握手を交わし、ジャッジによるフィードバックが行われました。ジャッジによるフィードバックが終わると、「英単語を覚えるためにはどうしたらいいか?」「より長く話すためにはどのようなことを話せばいいのか」「反論が思いつかない時はどうしたらよいか」などの質疑応答が行われました。

そして、最後に生徒代表者が「学びがあり、楽しかった。」と本日の感想を述べました。



ディベートの様子



エアー握手の様子

本日の感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・理由や反論の言い方やどこに着目すればいいのか、教えてもらったので意識していきたいと思います。
- ・久しぶりにジャッジ付きでのディベートをやりました。特に印象的だったのが、1人目の3分をどうまとめればいいのかという点で 主張 理由 具体例 とあって色々な場面に応用できるなと思いました。さまざまな見方を学べてとても楽しかったです。2年生になってだんだん慣れてきましたが、まだまだ改善の余地があると思います。今後に活かしていきたいです。
- ・今までのディベートで疑問だった点を解決できたのでとても良い時間でした。今後の活動に活かしていきたいと思います。
- ・いつもは自分たちでディベートをして 自分たちで振り返りをするけれど、第三者の方からの意見や感想、アドバイスを いただけて、とても勉強になりました。今日学んだことを踏まえて、これからの練習、大会に生かしたいと思います。
- ・先生の話がとてもわかりやすく、質問にも優しく答えてくださり、モチベーションが上がりました。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん
_____ さん



2021 年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021 年 11 月 12 日 (金) 14:00-17:00

会場：オンライン開催(Zoom)

参加者：教員 33 名 (横浜翠嵐高等学校、横浜平沼高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、横浜国際高校、光陵高等学校、希望ヶ丘高等学校、川和高等学校、柏陽高等学校、多摩高等学校、横須賀高等学校、平塚江南高等学校、鎌倉高等学校、湘南高等学校、小田原高等学校、茅ヶ崎北陵高等学校、相模原高等学校、厚木高等学校、大和高等学校)

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ・神奈川県教員

はじめに、PDA 代表理事中川より先月開催された PDA 神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会のアンケートへフィードバックが行われました。

交流大会のレベルは年々高くなっており、生徒の成長を感じるというコメントや、ジャッジとしての力をつけたいというコメントが見られました。

アンケートのフィードバック

- 生徒たちがいきいきとできてとても良かったです。授業でもぜひまた、ディベートを取り入れたいです。
 - 生徒の学びあいを見ることができて有意義でした。
 - 生徒が真剣に、また熱く英語に向かっている姿に感動しました。レベルも非常に高く、感心しました。
 - 教員として、もっと成長しなければと感じました。
 - 初めてジャッジをさせていただきました。大会という中で緊張しましたが、実際にやってみないとわからないことが多く、とても勉強になりました。
 - 今後も継続的に開催される事を楽しみです。
- オンラインでの脱取り
 - POIの拒否
 - 順位に納得いかない
 - PDAを授業に落とし込むのは非常に難しい。

PDA 代表理事中川による振り返り

そのあと、熊本県立八代中学校のディベート実践動画を視聴しました。“We should abolish school uniforms.” (制服を廃止するべきである。) という論題で中学生が活発にディベートをしている様子を見学しました。



八代中学校でのディベート実践の様子

次に、熊本県立八代中学校の藤田珠紀先生より、他府県事例発表がありました。“odd out one ゲーム”や“AREA Debate”など、中学校 1 年生から 2 年生にかけて行っている即興型英語ディベートの足杖となる活動のご紹介や、即興型英語ディベートを行う際に意識していることなどについて発表されました。



他府県事例発表の様子



質疑応答の様子

休憩をはさみ、ディベート実践・ジャッジ実践が行われました。本日の論題は、“Staggered attendance does more good than harm.”（分散登校は害より利益をもたらす。）でした。



ディベート実践の様子

その後、前回同様 3 つのグループにわかれ、研究授業発表に向けたディスカッションが行われ、授業実践などについて情報共有を行ったり、交流を深めたりしました。

参加者の声: 今年度の振り返り（アンケートより抜粋）

- ・貴重な機会を頂きましてありがとうございました。指導力向上とともに、教師としての自己研鑽をしていく良いモチベーションにもなりました。（相模原高校）
- ・ディベートというものを、初めて論理の部分から触れることのできる研修となり、多くのことを学ぶことができました。（鎌倉高校）
- ・今年度は、2回ほど参加できませんでしたが、ジャッジをやる機会を得ることができ、自信を持てるようになってきました。（希望ヶ丘高校）
- ・2年目ですが、去年より大分理解は深まりました。授業にも取り入れています。もっと頑張ろうと思います。（鎌倉高校）
- ・今回までの研修を欠席すること無く全て参加することができ、少しずつ自分自身がディベートや論理的思考に慣れていく感覚を得ることが出来ました。自身の英語力だけでなく、生徒にも多くのことが還元できているのではないかと思います。（横浜平沼高校）
- ・研修、本当にありがとうございました。今までディベートの分野に携わってこなかったので、いろいろと考えさせられました。自身もディベートとジャッジの両方を体験させてもらい、新しい経験となりました。本当にありがとうございました。（湘南高校）
- ・授業で実践してみて、自分の教科指導力を向上させることができました。しかし、今年度は担当している3年生に対してのみの実践だったので、来年度以降、低学年向けの授業で実践したいと思います。（光陵高校）

参加者の声: 他府県事例発表（アンケートより抜粋）

- ・中学校の実践例は参考になりました。生徒にとっての Debate の難しさとそれを伸ばす方法を知ることができたので。（柏陽高校）
- ・中学生へのアプローチの仕方がとても考えられていると感じました。活動、論理の両点からアプローチされていて、非常に効果的だと感じました。（鎌倉高校）
- ・他府県の実例を紹介していただけて、現実的に取り入れる方法を教えていただき大変参考になりました。（平塚江南高校）

ベストディベーターに選ばれた皆さん

_____先生（茅ヶ崎北陵高校）

_____先生（横須賀高校）

_____先生（湘南高校）

ベスト POI に選ばれた皆さん

_____先生（横浜国際高校）



PDA 第8回 PDA 首都圏公立高等学校 即興型英語ディベート交流大会 2021

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021年11月15日(日) 12:00-17:30

会場：オンライン (Zoom)

参加校：東京都立日比谷高等学校、東京都立西高等学校、東京都立三田高等学校、
神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、千葉県立千葉高等学校、
千葉県立船橋高等学校、埼玉県立浦和第一女子高等学校、埼玉県立浦和高等学校(全9校)

参加者：生徒 54名、教員 13名

スタッフ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、横浜国立大学



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事中川智皓より、「普段はディベートをしない他校の人との交流を深めながら切磋琢磨してください。」とエールが送られました。次に、八王子東高校の宮本校長先生より「他の学校の生徒とディベートすることで得られる刺激があると思います。今日という機会と大事に、楽しんでください。」とご挨拶いただきました。その後、参加校の紹介やジャッジの紹介、POI(Point of Information)に関する確認と練習が行われました。



PDA 代表理事 中川智皓より挨拶



八王子東高校 宮本校長先生



POI の練習

開会式後、校長集合写真の撮影を行いました。ご多忙な中、撮影にご協力いただきありがとうございました。



校長先生 集合写真

第1ラウンドのお題は「*Japanese government should introduce compulsory voting.* (日本政府は、強制投票を導入すべきである。)」でした。肯定側は日本の投票率の低さに着目し、特に若者のための政策が軽視されていることを問題として挙げ、否定側は何も考えずに投票する人が増えてしまうのではないかという問題やどこにも投票したくない場合の問題を挙げました。中には、「例えば～といった政党が三つあったとします。もし自分の信念と政策が異なった場合どうでしょう?」と具体的に状況を説明する様子も見られました。



日比谷高校 VS 湘南高校



県立千葉高校 VS 浦和高校



柏陽高校 VS 浦和第一女子高校



三田高校 VS 柏陽高校 (Swing)

都立西高校 VS 県立船橋高校

続く第2ラウンドのお題は、「*It is better to have a two-dimensional boyfriend/girlfriend than having a three-dimensional one.* (彼氏彼女を作るなら三次元よりも二次元の方が良い。)」でした。恋愛として安定するのはどちらか、コミュニケーション力に影響が出てくるのか、などについて POI を用いて質疑応答を行いながら議論を深めました。



県立千葉高校 VS 都立西高校



県立船橋高校 VS 日比谷高校



浦和高校 VS 柏陽高校



浦和第一女子高校 VS 三田高校



ディベート後の交流

休憩をはさみ、第3ラウンドです。お題は、「*In every public place, vaccine passport should be required to show.* (あらゆる公共の場所で、ワクチンパスポートの提示を求めるべきだ。)」でした。クラスターを防げる、公共の場所は特に感染リスクを下げなければならないという肯定側の主張に対し、否定側は、ワクチンを打ちたくても打てない人や、ワクチンを打ちたくない人への差別が生まれるのではないかと懸念や、むしろワクチンを打ったから大丈夫という油断につながるのではないかといった問題を説明しました。



湘南高校 VS 柏陽高校



三田高校 VS 浦和高校



県立千葉高校 VS 日比谷高校

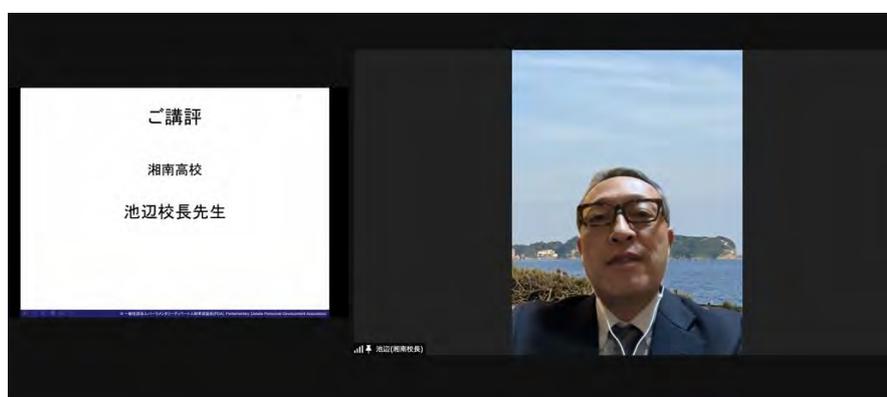


そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*It is better to study in the U.S. during high school days than after entering university in Japan.* (アメリカに留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。)」でした。肯定側は、多様性を学ぶことの重要性についてアメリカの特徴を分析しながら説明し、否定側は大学入学後の方がやりたいことや学びたいことが明確なため、得るものがより大きいのではないかと説明しました。POIが飛び交い、白熱した議論となりました。



エキシビジョンディベート

閉会式では、エキシビジョンディベータ賞、チーム賞、個人賞の表彰を行い、湘南高等学校の池辺校長先生よりご講評をいただきました。「学校を超えた一体感のある交流大会になったのではないかと思います。バイリンガルなだけでなく、バイカルチャルな人物になれるようにこれからも頑張ってください。」と労いのお言葉をいただきました。



池辺校長によるご講評

最後に、本日二度ベストディベータとベストPOIに選ばれた生徒が感想を述べました。



【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ PM 都立西高校 _____さん
- ・ LO 浦和高校 _____さん
- ・ MG 湘南高校 _____さん
- ・ MO 柏陽高校 _____さん
- ・ LOR 日比谷高校 _____さん
- ・ PMR 浦和第一女子高校 _____さん



〈チーム賞〉

- 1位 神奈川県立柏陽高校
- 2位 神奈川県立湘南高校
- 3位 埼玉県立浦和高等学校
- 4位 東京都立西高等学校
- 5位 千葉県立千葉高等学校



1位 柏陽高校



2位 湘南高校



3位 浦和高校



4位 都立西高校



5位 県立千葉高校

〈ベストディベーター賞〉 ※★は2回選出

- _____ (都立西) ★
- _____ (湘南) ★
- _____ (県立船橋)
- _____ (柏陽)
- _____ (柏陽)
- _____ (柏陽)
- _____ (日比谷)
- _____ (日比谷)
- _____ (都立西)
- _____ (三田)
- _____ (県立千葉)
- _____ (浦和)
- _____ (浦和)
- _____ (浦和)
- _____ (浦和第一女子)

〈POI賞〉 ※★は2回選出

- _____ (日比谷) ★
- _____ (柏陽)
- _____ (柏陽)
- _____ (日比谷)
- _____ (都立西)
- _____ (湘南)
- _____ (県立千葉)
- _____ (浦和)
- _____ (浦和)
- _____ (浦和第一女子)



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・英語力にはあまり自信はなかったが今回のディベートを通じて、さらに英語力を向上させたいと思った。また、将来グローバル化に乗じてこういった経験が重要視されていくと思うので、もっと深く学びたい。（日比谷高校）
- ・他校の生徒さんがとても明確で分かりやすい意見を上げており、とても勉強になりました。自分では考えつかないような、意見が行き交っていて、考え方の視野が広がり、とても良いディベートができたと思います。（三田高校）
- ・皆さんの英語力に圧倒されました。自分の英語力をこれからも伸ばして行けるよう努力していきたいです。（三田高校）
- ・即興型英語ディベートをやったことがなかったのですが、ディベートを通してとても勉強になりました。ありがとうございました。（都立西高校）
- ・楽しく参加できてよかったです。さまざまな観点の議題で視野を広げられました。（浦和第一女子高校）
- ・とても緊張しました。リスニングを特に頑張ろうと思いました。（浦和第一女子高校）
- ・ディベートはまだ経験も多くはなくて不安な面もあったけど、自分が言ったことに対して相手がしっかり反論など応えてくれて、自分も相手の言ってることが理解できて、とても楽しかったです。（浦和第一女子高校）
- ・大会となると、緊張も増えますが、仲間と協力するシーンも増えてとても楽しかったです。（浦和高校）
- ・皆さんすごくレベルが高くたくさん刺激を受けました。また、いろいろな価値観を知ることができて楽しかったです。ありがとうございました。（湘南高校）
- ・とっても楽しかったです。初めて対戦する学校が多く、スピーチの方法も全然違って、それぞれいい所があって、吸収したいところがいっぱいでした。（柏陽高校）
- ・ラウンドを通して成長できたと感じられた。（柏陽高校）
- ・大会を通してずっと楽しく英語に触れることができました！（柏陽高校）
- ・回を重ねるごとに自分のディベートが確実に上手くなっていると思えた。（県立船橋高校）
- ・複数の学校の人たちと一緒にディベートができて、様々な考え方やアイデアを知ることができました。（県立船橋高校）
- ・とても楽しかったです。昨年も参加しましたが、やはりこの大会を通して得られるものは多いなと感じました。他校の方のレベルの高さに圧倒されたので、これからの練習をしていく上でのモチベーションになりました。いつかオンラインではなく対面で、他校の方とディベートをやりたいです。（県立千葉高校）
- ・楽しかったです！こんなにディベートしたのは初めてです。疲れましたが、ジャッジの方のアドバイスがとても参考になりました。これからの英語ディベートに積極的に活用しようと思います。（県立千葉高校）
- ・普段は交流できない、色々な高校の方とディベートを通して交流できて、お喋りもできて、本当に楽しかったです！（県立千葉高校）
- ・緊張感があり、生徒がよく頑張っていた。より多くの学校、生徒に参加してもらいたい。（教員）
- ・いつもありがとうございます。生徒にとっても教員にとってもよい刺激になっています。（教員）

【各学校の様子】

●都立西高校



●県立千葉高校



●浦和第一女子高校



●三田高校



●日比谷高校



開催日時：2021年11月23日(火) 09:00-13:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：盛岡第一高校、盛岡北高校、福岡高校、一関第一高校、一関第二高校

参加者：生徒 39名、教員 8名

スタッフ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、横浜国立大学、慶應義塾大学、
大阪府立大学、福岡高校、一関第一高校



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事中川智皓より、「評価項目に沿って、理由や具体例の説明をしっかりとすることにチャレンジしてください。」とエールが送られました。次に、PDA スタッフより、参加校の紹介やジャッジの紹介、POI(Point of Information)に関する確認と練習が行われました。



PDA 代表理事 中川智皓より挨拶



トロフィー返還



POI の練習

第1ラウンドのお題は「*Taking a junior high-school entrance exam does more good than harm.*(中学受験は害よりも利益をもたらす。)」でした。肯定側は勝敗の可能性が広がることや、勉強習慣が小学生の頃からつくという点について、否定側はむしろ勉強が嫌いになるのではないかということや、塾に通い、交友関係や勉強以外のことがおろそかになってしまうという点について説明しました。



盛岡北高校 A vs 一関第二高校 A



盛岡北高校 B vs 盛岡第一高校 B



福岡高校 vs 盛岡第一高校 C



POI! 一関第一高校 A vs 盛岡第一高校 A



一関第一高校 B vs 一関第二高校 B



ジャッジによるフィードバック



交流の様子

続く第2ラウンドのお題は、「*In every public place, vaccine passport should be required to show.* (あらゆる公共の場所で、ワクチンパスポートの提示を求めるべきだ。)」でした。新型コロナウイルス感染症の感染防止が重要であるということだけでなく、なぜとりわけ公共の場では安全が保障されるべきなのかという点について説明している肯定チームもありました。否定チームは現状分析を深く行い、東京での感染者数なども例に挙げながら感染がおさまってきているということや他の方法で感染防止は可能であることを詳しく説明しました。



一関第一高校 A vs 盛岡第一高校 C



一関第二高校 B vs 福岡高校



POI！ 盛岡第一高校 A vs 盛岡北高校 A



POI！ 盛岡北高校 B vs 一関第二高校 A



交流の様子



フィードバック 盛岡第一高校 B vs 一関第一高校 B

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*It is better to study in the U.S. during high school days than after entering university in Japan.* (アメリカに留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。)」でした。高校在学中に行った方が学びがあるという肯定側に対し、スキルや知識を身につけてから留学した方が学びがあるという否定側が白熱した議論を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の流行している現状の背景を描写しながら説明をする場面も見られました。勝敗はディベートを観戦した生徒による投票で **Opposition** (否定側)の勝ちとなりました。



エキシビジョンディベート

閉会式では、エキシビジョンディベータ賞、チーム賞、個人賞の表彰を行いました。PDA 代表理事中川 智皓より「多様なバックグラウンドや価値観を想像する力が重要です。今日ディベートでその力の一端を身につけることができたのではないかと思います。」と講評がありました。最後に、本日二度ベストディベータに選ばれた生徒が「準備して話すよりも、相手の言ったことに対してすぐ反応する場面の方が社会に出てからは多いのではないかと思います。即興型英語ディベートでその力を極め、今後の生活に活かしたい。」と感想を述べました。それに対し、PDA 代表理事中川より「話がパツと思いつくかどうかは日常生活をどれくらい真摯に生きているかによる部分があると思います。日常生活全てが準備だと思って、いろいろなことに向き合って、考えてみてください。」とコメントが述べられ、交流大会の幕を閉じました。



本日の感想 (福岡高校)

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ ●● ●●さん



〈チーム賞〉

- ・ 1位 一関第一高校 B
- ・ 2位 一関第一高校 A
- ・ 3位 盛岡第一高校 C
- ・ 4位 盛岡第一高校 B
- ・ 5位 福岡高校



1位 一関第一高校 B



2位 一関第一高校 A



3位 盛岡第一高校 C



4位 盛岡第一高校 B



5位 福岡高校

〈ベストディベーター賞〉 ※★は2回選出

- ●●さん★
- ●●さん



〈POI賞〉 ※★は2回選出

- ●●さん★
- ●●さん★
- ●●さん



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分をアップデートできた。（盛岡北高校）
- ・今日はディベートを通してたくさんのことを学ぶことが出来ました。ありがとうございました。（盛岡北高校）
- ・県内の方々とディベートができて楽しかった。ジャッジの方々に言われたことを忘れずこれからも成長できるように頑張りたい。（一関第一高校）
- ・即興は初めて参加してその場その場で英語を考えるのは難しいなと思ったからもっと単語力をつけたいなと思った。（一関第二高校）
- ・色々な人とのディベートで交流を見ることが出来楽しかったです。トピックのことを調べて理解を深めることが出来ました。ありがとうございました。（一関第一高校）
- ・楽しかったです！いろいろな知識も持てて身になりました！またやりたいです。（一関第一高校）
- ・自分の中には無い考えを色々な視点から考えることが出来て、いい経験になりました。（一関第二高校）
- ・ほかの学校とまた交流もできたし、普通のディベートとは違う難しさとかも学べてこれからのいかせるいい経験になりました。（盛岡北高校）
- ・ディベートの技術や考え方はもちろん、みなさんとお話しできたこともとても楽しかったです。開催していただきありがとうございました！！（一関第一高校）
- ・とても強い人がたくさんいて、刺激になった。（盛岡第一高校）
- ・論の組み方が甘い部分があった。あとは知識不足を感じたので社会の情勢などに興味をもってニュースを見たり自分でいろいろと行動できたらと思う。もっと成長できるように頑張りたい。（盛岡第一高校）
- ・ニュースを見て、基礎知識をしっかり定着させたい。（盛岡第一高校）
- ・考える力を今回のディベート大会を通じて知ることができたので良かったです！！（一関第一高校）
- ・生徒のスピーチが良くなっていくところを見ることができました。（教員）
- ・この1日だけで、生徒の成長が見られた。ディベート活動は、準備ディベート中心になっているので、即興も授業に取り入れたいです。（教員）



開催日時：2021年12月10日（金）13：30～15：30

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒6名、教員3名

スタッフ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ

参加者全員が、即興型英語ディベートをするのは今回が初めてとのこと、実践前にディベートの流れ、各スピーカーの役割などのルール確認を行い、POI（Point of Information）の練習を行いました。中山校長や ALT の先生達が見守る中、第一ラウンドの論題が発表され、いよいよ実践スタートです。



POI の練習

実践①の様子

15 分間の準備時間の中でチームメイトとアイデアを出し合い、自分たちの主張を支えるサインポストを 2 つ用意し、スピーチ内容を考えます。緊張の中にも、アイコンタクトやジェスチャーが自然にあり、内容についても肯定側と否定側の世界観を比較して、その差を話そうとするなど、6 名全員が堂々としたスピーチを行いました。

ラウンド後は、PDA 認定教育ジャッジから、勝敗と勝敗理由にくわえて、各スピーカーに個人コメント（良かった点と改善点）が述べられます。次のラウンドにいかすために自発的にアドバイスをメモに取る学びの姿が見られました。

実践②の様子

休憩時間の後、実践 2 では、ジャッジから受けたアドバイスを早速いかして、主張だけでなく、主張を支える根拠となる理由や、具体例が肯定・否定の両サイドから多く提示さ

れました。中には、相手チームからの反論や議論を前もって予測して、先に再反論までのスピーチが飛び出し、相手の議論に噛み合った反論や自分たちのポイントの再構築が行われました。



堂々としたスピーチ



お互いの健闘をたたえてエアークラッシュ

実践後、実践②でベストディベーターに選ばれた生徒 2 名から「初めての体験で緊張したけれど、自分の知識量をフルに使って英語で話す即興型英語ディベートは、自分の考えを英語で話す力がつくと思った。楽しかった。」「苦手な英語を克服したくて参加したが、もっと英語で自分の意見を言いたくなった。そのためにもっと勉強しなくちゃいけないと思った。楽しかったです。」と感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 準備時間の間、色んなアイデアを出していくのが楽しかった。
- 英語が苦手で緊張したけれど、このような機会がなければ経験することがないものだったので、参加して良かったです。自分のいまの知識をフル活用できて、達成感を味わえてとても楽しかった。
- 初めてでしたが楽しかったです。特に、反論は相手から言われるまで分からないところが、やってみて楽しかったです。
- 英語が難しい分、もっと言えるようになりたいと思いました。とても楽しくて、良い経験が出来ました。
- 反論をすぐ返されて、言いたいことが言えなくて悔しいと思った時もありましたが、話すコツや反論の仕方がだんだんと分かるようになったし、2回目で全員の上達を感じられて、すごく楽しかったです。
- あまり自分の思うようにはできなかったから、表現力をもっと上げて、流暢に話せるようになりたい。楽しかった。

ベストディベーターに選ばれた皆さん（順不同）

_____さん
_____さん
_____さん
_____さん



PDA 大阪府立生野高校・香川県立丸亀高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年12月18日（土）09:00-11:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒12名（大阪府立生野高校・香川県立丸亀高校）

ジャッジ：PDAスタッフ、東京外国語大学

はじめに、PDAスタッフよりルールの確認が行われました。15分の準備時間の使い方や、理由や例の説明の仕方などについて説明が行われ、POI(Point of Information)の練習を行いました。POIの練習では、片手を頭に寄せ、もう片方の手を伸ばすポーズを実践することができました。その後、対戦表、論題の発表ののち、ディベート実践が行われました。



POIの練習



準備時間の様子(生野高校)

実践の様子（1）

実践（1）の論題は「*High school students should have part-time jobs.*（高校生はアルバイトをすべきである。）」でした。高校生として今すべきことは何か、高校生のアルバイト経験は将来どのように生きるのかなどについてお互いの意見を深めました。



POIで質疑応答



ディベートの様子

実践の様子（２）

実践（２）の論題は「*It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.* (大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。)」でした。「友達や家族、先生でも良いではないか」「いや、恋人が必要である」「勉強の時間が減るのではないか」「お互いに勉強が重要だとわかっているためそんなことはない」としっかり相手の意見を理解し、返答する様子が見られました。



POI で質疑応答



ディベートの様子



エアー握手の様子

最後に、実践（２）でベストディベータに選ばれた生徒が、「チームメイトと協力してディベートできてよかった。」「初めての英語ディベートだったが楽しめた。」「英語は苦手だが成長を実感できた。」「緊張したが、確実に英語力を伸ばせると思った。」と感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分は英語は得意ではないですが、こういったディベートの経験を生かして、英語の大切さを実感しました。（生野高校）
- ・自分の考えてなかった回答が相手チームから聞けて、視野が広がったと感じた。（生野高校）
- ・自分達で考えることは難しかったが、不完全な文章であっても言葉に出すことで、相手に意見を伝えることができた。（丸亀高校）
- ・即興の英語力がとても重要なことがわかりました。新しい体験でとても楽しかったです。（丸亀高校）
- ・普段あまり英語で話す機会がないので、英語を使えて自分の考えを表現できてよかった。考えが深まりました！（丸亀高校）



文部科学省後援 第7回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2021年12月25日(土)、26日(日)

(1日目) 予選4試合、(2日目) 準々決勝、準決勝、決勝、キーノートレクチャー

会場：オンライン開催 (Zoom)

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：東京大学生産技術研究所、公立大学法人大阪 大阪府立大学

後援：文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、全国高等学校長協会、一般社団法人
日本英語交流連盟、一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

協賛：東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス (ONG)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団



参加校：

(北海道) 北海道釧路湖陵高校(青森県) 青森県立青森高校、八戸聖ウルスラ学院高校(岩手県) 岩手県立一関第一高校、岩手県立盛岡第一高校(宮城県) 宮城県宮城第一高校(秋田県) 秋田県立角館高校(山形県) 山形県立山形東高校、(茨城県) 東洋大学附属牛久高校、清真学園高校(栃木県) 栃木県立宇都宮高校、栃木県立宇都宮東高校、栃木県立佐野高校、作新学院高校(群馬県) 群馬県立前橋高校、高崎市立高崎経済大学附属高校(埼玉県) 埼玉県立浦和高校、埼玉県立浦和第一女子高校、さいたま市立浦和高校(千葉県) 翔凜高校、渋谷教育学園幕張高校(東京都) 東京都立日比谷高校、東京都立西高校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立両国高校、東京都立富士高校、東京都立三鷹中等教育学校、千代田区立九段中等教育学校、筑波大学附属駒場高校、渋谷教育学園渋谷高校、豊島岡女子学園高校、武蔵学園高校、獨協高校、品川女子学院 高等部、(神奈川県) 神奈川県立相模原高校、神奈川県立横浜翠嵐高校、神奈川県立湘南高校、神奈川県立柏陽高校、神奈川県立多摩高校、神奈川県立茅ヶ崎北陵高校、聖光学院高校、栄光学園高校、浅野高校、湘南白百合学園高校(富山県) 富山国際大学付属高校(福井県) 福井県立藤島高校(長野県) 長野県長野高校、長野県屋代高校、長野県伊那北高校、長野県松本県ヶ丘高校(岐阜県) 岐阜県立岐阜高校(静岡県) 静岡県立静岡高校(愛知県) 東海高校、南山高校女子部(三重県) 三重県立四日市高校、三重県立川越高校(京都府) 京都府立嵯峨野高校、京都市立日吉ヶ丘高校、京都市立堀川高校(大阪府) 大阪府立北野高校、関西創価高校、関西大倉高校(兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校、神戸市立葺合高校、雲雀丘学園高校(奈良県) 奈良県立奈良高校(鳥取県) 鳥取県立鳥取西高校(山口県) 山口県立山口高校(徳島県) 徳島県立城ノ内高校(香川県) 香川県立高松高校(福岡県) 福岡県立東筑高校、福岡県立城南高校、福岡県立香住丘高校(熊本県) 熊本県立第二高校、熊本県立熊本商業高校、真和高校(鹿児島県) 鹿児島県立大島高校、

鹿児島県立鹿児島中央高校、鹿児島県立甲南高校、鹿児島県立鶴丸高校、ラ・サール高校（沖縄県）沖縄県立球陽高校、沖縄県立前原高校（熊本県）熊本県立八代高校

84 校

開催趣旨：

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。（参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>）

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

予選 1：Plastic products should be taxed.

（プラスチック製品に課税をすべきである。）

予選 2：Parents of children who bully other children should face criminal charges.

（いじめをした子の親は、刑事罰に課されるべきである。）

予選 3：Japan should impose a diplomatic boycott of the Beijing Olympics.

（日本は、北京五輪の外交ボイコットをすべきである。）

予選 4：COVID-19 vaccination should be mandatory.

（新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種は義務化されるべきである。）

準々決勝：Wild fish catch should be prohibited and fish should be farmed.

（天然魚の漁獲は禁止し、魚は養殖すべきである。）

準決勝：Debate competitions should be held online rather than face-to-face regardless of the COVID-19 situation.

（ディベート大会は、コロナ禍に関わらず、対面よりもオンライン開催の方がよい。）

決勝：The U.S. military should not have withdrawn from Afghanistan.

（米軍はアフガニスタンから撤退すべきでなかった。）

キーノートレクチャー講師：

- 東京大学生産技術研究所 特任教授 米田 美佐子 氏
- リージョナルフィッシュ株式会社 COO 石本 俊輔 氏
- 立命館大学情報理工学部 教授・一般社団法人 ビブリオバトル協会 代表 谷口 忠大 氏

1 日目

本大会は昨年に引き続き、オンラインでの開催となりました。例年よりも 20 校枠を広げ、過去最大の 84 校の高校が本大会に参加しました。北は北海道から南は沖縄まで、全国から高校生・教員・見学者が Zoom のミーティングルーム内に集まりました。数多い参加者で画面が埋め尽くされました。大会でのルール諸注意、PDA 認定教育ジャッジの紹介、ジャッジ手順の確認が行われました。

開会式が終わると予選です。84 チームが一斉にディベートを行います。1 日目は予選が 4 試合行われ、その結果を受けて準々決勝に進出するチームが決まります。予選 1 の論題は「プラスチック製品に課税をすべきである。」です。食品の入れ物であるペットボトルや弁当箱、ディベートに用いているストップウォッチや電子辞書まで、プラスチック製品は生徒たちの身の回りに溢れています。その全てに税が課された場合どうなるか、賛成と反対の両方から意見が飛び交いました。



開会式の様子



予選 1 ラ・サール VS 柏陽



鶴丸 VS 日比谷

予選 1 終了後は昼休みです。昼食を取りながら、Zoom のブレイクアウトルームを用いた交流会が行われました。季節に合わせた部屋の飾りつけをした学校もありました。



昼食交流会の様子

予選3の論題は「日本は、北京五輪の外交ボイコットをすべきである。」です。ホットな時事問題を前に、頭を悩ませたり、直前のレクチャーを活かした議論をしたり、一生懸命な姿勢が見られました。



予選3 釧路湖陵 VS 牛久



予選3 八代 VS 栄光



予選3 川越 VS 青森

予選4の論題は「新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種は義務化されるべきである。」です。日本においてワクチン接種が進められている今、生徒にとっても関心の高い論題でした。第4ラウンドは試合後のジャッジからの勝敗の発表はありません。翌日のブレイクアナウンスメントをお楽しみに!(翌日、各校へジャッジからのコメントシートが配布されます。)



予選4 横浜翠嵐 VS 浦和一女



予選 4 渋渋 VS 作新



予選 4 藤島 VS 浅野



奈良 準備中の光景

第 4 ラウンドが終わると外はすっかり暗くなり、熱中していた時間の長さには驚かされました。生徒たちも明日の発表への不安もありつつ、4 試合全力で成し遂げた達成感を感じさせるいい顔を見せ 1 日目が終了しました。

大会 1 日目はクリスマス当日でした。1 日頑張った生徒の皆さん、素敵な夜をお過ごしください。Merry Christmas!

2 日目

2 日目の最初は、決勝トーナメントに進むチームの発表 (Break Announcement) です。緊張した面持ちの生徒が続々と集まってきます。

まずは、ジャッジブレイクの発表です。教員や社会人、大学生によるジャッジは、勝敗を決め、ディベーターである生徒にその理由と個人コメントを、教育的配慮をしつつ論理的に述べます。ジャッジのコメントに対して、どの程度生徒が納得できたか、またどの程度次への学習意欲を高めることができたかという観点で、生徒はジャッジを 10 段階評価します。平均点が高かった 30 名の先生方が発表されました。おめでとうございます。上位に選ばれた先生方は決勝トーナメントでジャッジを務めていただきます。

次に、準々決勝に出場するチーム 1 位から 8 位までが発表されました。喜びの声が響き渡りました。

予選結果

- 予選 1 位 作新学院高校
- 予選 2 位 聖光学院高校
- 予選 3 位 筑波大学附属駒場高校
- 予選 4 位 千代田区立九段中等教育学校
- 予選 5 位 福井県立藤島高校
- 予選 6 位 渋谷教育学園渋谷高校
- 予選 7 位 長野県長野高校
- 予選 8 位 神戸市立葺合高校

準々決勝の論題は「天然魚の漁獲は禁止し、魚は養殖すべきである。」です。出場者が準備をしている間、東京大学生産技術研究所特任教授の米田美佐子氏から前日の第 4 試合に関して、新型コロナウイルス感染症を含めたウイルスとその対抗手段であるワクチンの開発についてレクチャーがありました。

The image shows a presentation slide on the left and a photograph of Professor Misako Yoneda on the right. The slide is titled "麻疹ウイルスベクターを用いた新型コロナワクチンの開発" (Development of COVID-19 vaccine using measles virus vector). It lists the following features of the measles vaccine:

- ・ワクチン効果が高い
致死率の高い麻疹を完全に予防
渡性免疫と強い細胞性免疫を誘導する
- ・免疫持続期間は極めて長い -- 終生免疫
- ・生ワクチンであるが、すでに安全性がヒトで確認されている
1960年代から世界中で使用、WHOによる麻疹撲滅キャンペーンで使用

The photograph shows Professor Yoneda wearing a white surgical mask and a grey zip-up jacket, sitting in front of a bookshelf.

米田 美佐子氏によるレクチャー

準々決勝は 4 つの会場で行われました。日本は海に囲まれた島国なので、魚は身近な食品です。養殖の技術も年々進化しており、天然と養殖がそれぞれの良さを活かして消費されるようになりました。食品としての質や生態系保全を軸とした議論が展開され、準々決勝は大いに盛り上がりました。



準々決勝 作新 VS 葺合



準々決勝 筑駒 VS 渋渋



準々決勝 藤島 VS 九段

準々決勝終了後は、お昼休みです。メインルームでは少人数に分けて生徒同士の交流会が行われました。2日目は大会本部がある大阪を含めた日本全国が寒波に見舞われ、雪の中登校した生徒も多くいたようです。



生徒交流会の様子

校長先生方とのご挨拶を行いました。本規模の大会が実現したのは校長先生方、教員の皆様のご理解のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。本全国大会では、授業へ持ち帰り可能な即興型英語ディベートを取り扱っており、学校として本活動にご支援いただくことで、参加者のみならず、普段の授業を通して多くの生徒・教員が即興型英語ディベートを広く利活用できますよう期待しています。



校長先生方との記念写真

昼食後、準決勝進出チームが発表されました。準決勝の論題は「ディベート大会は、コロナ禍に関わらず、対面よりもオンライン開催の方がよい。」です。15分の準備時間の間、リージョナルフィッシュ株式会社 COO の石本俊輔氏より準々決勝の論題に関するレクチャーがありました。食料問題、とりわけタンパク質の不足を解決するために行われてきた品種改良の歴史や今後の展望についてお話いただき、生徒からは突然変異に切り込んだ質問も飛び交いました。

天然	養殖
✓ 漁獲量は頭打ち	✓ 伸ばす余地は大きい
✓ 乱獲・環境変動による漁場悪化	✓ 赤潮や藻類・残留による海洋汚染
✓ 水産資源の採取	✓ 設備設立や運用に係る環境負荷
✓ マイクロプラスチック、重金属など (※生物濃縮による蓄積)	✓ 生産条件をコントロールできる
✓ 環境影響が大きく、安定しない	✓ 工業化が進み、価格は安定してくる
✓ 天然のものが好まれる傾向	✓ 「養殖」は、天然より劣るものと考えられがち。

いつまでも、こんな比較になっているでしょうか？

石本 俊輔氏によるキーノートスピーチ・質疑応答



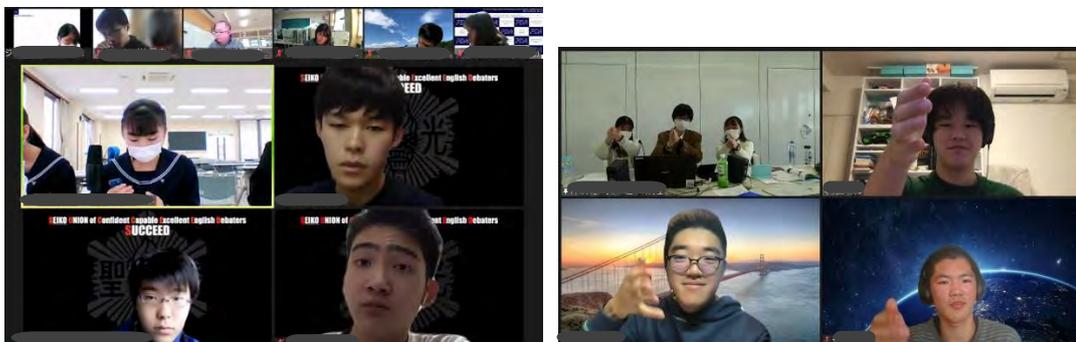
準決勝 筑駒 VS 聖光

準決勝のあとは、いよいよ決勝戦です。決勝の論題は「米軍はアフガニスタンから撤退すべきでなかった。」です。3位決定戦も同時に行われました。

また、決勝の準備時間の中に、立命館大学情報理工学部教授・一般社団法人ビブリオバトル協会代表の谷口忠大氏にレクチャーをいただきました。谷口氏はビブリオバトルの考案者であり、ビブリオバトルとパラメンタリーディベートではコミュニケーションにどのような違いがあるか、目的に応じた話し合いのルールを設ける重要性についてお話いただきました。



谷口氏によるキーノートレクチャー



3位決定戦の様子

決勝戦後、エア握手する生徒たち

決勝戦、3位決定戦が終了し、表彰式が行われました。チーム賞、個人賞の授与が行われました。また、文部科学省・外務省後援 第7回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会（ワールドコンGRESS）への出場権を手に入れた学校も発表されました。

第7回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会結果

<チーム賞>

優勝：筑波大学附属駒場高校

準優勝：作新学院高校

第3位：聖光学院高校

準決勝出場チーム（第4位）：福井県立藤島高校

準々決勝出場チーム（ベスト8）：

- ・千代田区立九段中等教育学校
- ・渋谷教育学園渋谷高校
- ・長野県長野高校
- ・神戸市立葺合高校



PDA では、ディベートの強いチーム作りをした学校だけではなく、一般生徒向けに、学校全体で即興型英語ディベートの授業導入された学校を称えます。授業導入賞は、提出された書類やカリキュラムから選ばれました。

<授業導入優秀賞>

- ・熊本県立第二高校
- ・鹿児島県立大島高校

<授業導入賞>

- ・岩手県立一関第一高校
- ・岩手県立盛岡第一高校
- ・秋田県立角館高校
- ・山形県立山形東高校
- ・東洋大学附属牛久高校
- ・栃木県立宇都宮高校
- ・栃木県立宇都宮東高校
- ・栃木県立佐野高校
- ・作新学院高校
- ・埼玉県立浦和高校
- ・さいたま市立浦和高校
- ・翔凩高校
- ・獨協高校
- ・東京都立日比谷高校
- ・東京都立三鷹中等教育学校
- ・筑波大学附属駒場高校
- ・渋谷教育学園渋谷高校
- ・神奈川県立柏陽高校
- ・長野県長野高校
- ・長野県屋代高校
- ・長野県伊那北高校
- ・岐阜県立岐阜高校
- ・京都府立嵯峨野高校
- ・京都市立日吉ヶ丘高校
- ・京都市立堀川高校
- ・大阪府立北野高校
- ・関西創価高校
- ・神戸市立葺合高校
- ・山口県立山口高校
- ・徳島県立城ノ内高校
- ・福岡県立東筑高校
- ・福岡県立城南高校
- ・福岡県立香住丘高校
- ・熊本県立熊本商業高校
- ・鹿児島県立甲南高校
- ・沖縄県立球陽高校

<その他個人賞> (多数、個人名は略)

- ・ジャッジ賞、ベストディベーター賞、POI賞、文部科学大臣賞 (ベストスピーカー賞)

以上の結果を受け、第7回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会への出場権は、以下の5校に進呈されました。

<1位~3位> 筑波大学附属駒場高校、作新学院高校、聖光学院高校

<授業導入優秀賞> 熊本県立第二高校、鹿児島県立大島高校

キーノートレクチャーの感想（抜粋）

- ・とても興味深かった。特にワクチンに関するものは、麻疹ワクチンを利用したコロナワクチンの存在がそんなこともできるのかと興味深かった。また有効性や免疫持続期間のデータを知らなかったので今後のディベートのときに活用しようと思う。（奈良）
- ・何度も講義が用意されていて幅広く知識を得られた。（前橋）
- ・生徒に考えてもらいたい論題ばかりでした。養殖に関しても、新鮮でした。魚だけに
^_^（葺合）
- ・時間もちょうど良く、スライドがとてもわかりやすく、幅広い分野の知識が得られて面白かったです。（鶴丸）
- ・ディベートをした直後に、扱われた話題についての知識についてレクチャーをうけることができたので、生徒はいつも以上に興味を持つことができたし理解も深まった。（静岡）

アンケートの声（抜粋）

【生徒の声】

- ・今回の大会でうまくできたスピーチ、その反対に失敗してしまったことがあったので他校の方やフィードバックで見つかった改善点を参考にして、これからも成長していきたいです！（相模原）
- ・この二日間はほんとうにたくさんのお話を勉強させていただいて、出場させていただきありがとうございました。自分がまだまだ勉強不足であることを改めて思い知ったし、同時にもっと英語や他の勉強を頑張ろうと思った。（浦和一女）
- ・とても貴重な機会ありがとうございました。特にたくさん的高校生や先生方と交流できた事がこのコロナの状況下の中で特に嬉しかったです。また、とても質やレベルの中の高いディベートで圧倒されました。これからもディベートを頑張っていけたらいいなと思いました。（日吉ヶ丘）
- ・まずは、このような素晴らしい大会を開催して下さりありがとうございました！自分は一年生でチャレンジャーとして他の高校生にどんどん挑んでいこうという心境で大会に臨みました。また試合の中で自分が成長しているようにも感じられてとても嬉しかったです。来年もぜひ参加したいと思います！！ありがとうございました。（市立浦和）
- ・初めての経験であり仕事を果たせなかったのもっと頑張りたいと思える大会になりました。（熊本商業）
- ・今回ジャッジしてくださった先生がとてもハイレベルの先生で、フィードバックもとても勉強になりました。また他校の生徒とディベートで意見を言いながら交流出来たから良かったです。（富山国際）
- ・ハイレベルな論題で高度なディベートを实践できたことは貴重な経験だった。（岐阜）

- ・84校というたくさんの高校とディベートが出来て凄くいい経験だった。今回の大会でもっと上手になりたいと思った。頑張ろうと思う。(佐野)
- ・今回私はサポートでの参加で、ディベートに直接参加したわけではなかったのですが、ものすごく緊張しました。チームメイトも緊張していたと思うのですが、強い相手に当たった時でも圧倒されることなく、なんとか相手に食らいつこうと努力している姿がとても印象に残りました。私にとってもとても良い経験になりました。このような素晴らしい大会に参加する機会をくださり、ありがとうございました！（鳥取西）
- ・私自身は英語ディベートはほぼ初心者だったので不安もかなり大きかったが、様々な高校の方との対戦を通して表現や構成、反論の仕方など様々な学びを得ることができて、充実した時間を過ごすことができたと思う。(山形東)
- ・ジャッジの皆さんの評価がすごくわかりやすかったです。大会をするだけでなく高校同士の交流をする機会があったのでより楽しめたと思います。(関西大倉)
- ・ありがとうございました。決勝などで見学しながらジャッジをすることも、実際にディベートするのと同じくらい意味がありました。本当に楽しかったです。貴重な経験をありがとうございました。(雲雀丘)
- ・ディベートへの熱意を発揮できる場を設けて下さりとても感謝しています(聖ウルスラ)
- ・貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。今後の部活でのディベートも頑張っていこうと改めて思いました。(両国)
- ・あと少しもう少しそう思うことが多かった。勝ったと思ったら負けていたりその逆も然り。ベストディベーター賞もあと一回もう少しで取れたと思う。ただ、この大会を目標に練習するなかで多くの能力を伸ばせた。(高崎経済)
- ・一日に四試合する機会は普段ないので、多くの試合を通して、自分の力を伸ばせたと思います。ディベートだけでなく、全国の高校生と交流したり、キーノートレクチャーで専門的なことを学んだりする機会があったのも、とても良かったです。この大会が高校生活で最後の全国的な大会になるのが残念ですが、ディベートを通して学んだことを生かしていきたいと思います。大会を運営してくださった皆様、ありがとうございました。(嵯峨野)
- ・他校との対戦や2日目の見学によって、自分の力不足がよく分かり、また学ぶことが多くありました。これからもっと上達したいと思いました。(都立西)
- ・ディベートの試合はもちろん、ジャッジの方のコメントもとても勉強になりました。また、他校と **make friends** できたのが楽しかったです。ありがとうございました。(藤島)
- ・自分を超える知識を持ち、スピーチの構成の工夫をできる同学年と交流出来たから。ジャッジの質も高く、質問にも丁寧に答えてくれたから。(甲南)

- ・自分が出場した試合では、アドバイスをジャッジの方にいただき1試合目に比べて大きく成長できたと思います。また、決勝戦では同じ高校生なのに現状、問題をここまで英語で述べる姿をみて刺激を受けました！（東筑）
- ・実力をつけて戻ってきたい（城ノ内）

【教員・見学者の声】

- ・大変意義のある2日間でした。理由は教育のイノベーションを起こす上で価値が大きいからです。楽しい、ワクワクする。そんな瞬間を味わえて感無量です。（教員）
- ・生徒教員ともども毎年大変刺激になっております。また来年の全国大会上位入賞を目標に精進して参ります。本年もありがとうございました。（教員）
- ・授業導入優秀賞をいただきまして誠に有り難うございます。今後ともさらに多くの生徒達が即興型ディベートに取り組んでいければと思います。有り難うございます。（教員）
- ・去年で出れませんでした、今年参加できて良かったです。毎年毎年大会がグレードアップされていくのを実感しております。本当に大学生や大学の先生方はすごいな～と実感します。色々勉強になりました！ありがとうございました。（教員）
- ・大変ありがとうございました。オンラインでの開催は、スタッフの方々の労力が計り知れあいものだと思います。（教員）
- ・他県のディベートの様子が知れて良かったです。勉強になりました。（教員）
- ・画面越しではなく、対面でディベートできる日が待ち遠しいです。（教員）
- ・今年もレベルの高いディベートを体験させていただき、ありがとうございました。大変勉強になりました。（教員）
- ・決勝などで見学しながらジャッジをすることも、実際にディベートするのと同じくらい意味がありました。本当に楽しかったです。貴重な経験をありがとうございました。（見学生徒）
- ・私は、見学でしたが、非常に楽しかったです！全国のレベルの高さに圧倒され、初めて知ることばかりでしたが、一年生の私にとって、すごくいい機会となりました。POIの質の高さや量の多さ、それに迅速に対応できる生徒の皆さん。話の流れをしっかり掴みとり、何を一番伝えたいのかを明確にしてディベートを行う姿は私にとって憧れ、そして自分がなければならぬものでもありました。今回の大会でたくさん学ぶことももちろんありましたが、他校の生徒の交流もでき、練習の機会も増えましたし、素敵な出会いもありました！今回大会を見学できて本当に光栄ですし、よかったなと心の底から思っております。この度は本当にありがとうございました。（見学生徒）

以上